

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検・評価報告書

令和5年9月

岡山県津山市教育委員会

— 目 次 —

	ページ
I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について _____	1
1 点検及び評価の導入の目的	1
2 対象事業と点検・評価の方法	1
3 学識経験者による知見の活用	2
－地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	2
II 令和4年度教育委員会の活動状況 _____	3
1 教育委員	3
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 教育委員会議決案件	4
4 教育委員会協議案件	5
5 教育委員会傍聴者の状況	6
6 教育委員協議会の開催状況	6
7 各懇談会	6
8 教育委員会会議以外の活動状況	7
III 各施策の点検・評価 _____	10
津山市教育振興基本計画に基づく方向性と施策（一覧）	10
【教育活動の推進・充実】	
(1) 自立	
ア. 主体的に学ぶ意欲の育成	13
イ. 確かな学力の向上	22
ウ. 健やかな心と体の育成	30
(2) つながり	
ア. 自他を尊重する心の育成	43
イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築	46
ウ. 道徳性や規範意識の醸成	50
(3) 郷土愛	
ア. 津山の歴史・伝統・文化などを大切にする心の育成	54
イ. ふるさと津山に誇りと愛着をもち、 地域や社会に貢献できる人の育成	56
【教育活動を支える環境づくり】	
ア. 安全・安心な学校づくり	58
イ. 良好な教育環境の維持・向上	62
ウ. 総合的な連携体制の構築	67
IV 学識経験者の総評 _____	69
服部 康正（元小学校校長）	69
福田 邦夫（津山市教育振興基本計画（第2期）検討委員会委員）	74
V 今後の教育委員会の対応の方向性 _____	76
VI 資料 _____	
(1) 令和4年度津山市教育行政重点施策の体系	80
(2) 令和4年度教育予算の内訳	81
(3) 令和4年度教育委員会の組織機構と事務分掌	85

I 教育に関する事務の管理及び

執行の状況の点検・評価について

I 点検及び評価の導入の目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。そして、教育委員会が協議決定した教育方針と施策について、教育長が統括する事務局が広範かつ専門的な教育行政事務を執行するものです。

このようなことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地教行法)※1により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすものです。また、同時に令和4年3月に策定した「第3期津山市教育振興基本計画」(計画実施年度 令和4年度~令和7年度)の、定期的な点検と進捗管理を毎年度行います。

2 対象事業と点検・評価の方法

(1) 対象事業

津山市教育委員会が策定した「令和4年度教育行政重点施策」への取組並びに達成状況について、項目別に点検・評価を行いました。

(2) 評価方法

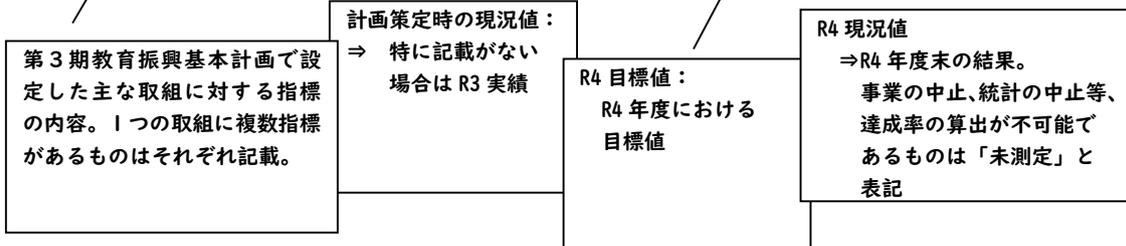
第3期津山市教育振興基本計画に基づく方向性、基本目標、取組に合わせた各項目別に【具体的施策と実施状況】【目標指標とその達成状況】【課題】【今後の方向性】を記載しています。

【具体的施策と実施状況】は「施策の実施概要とその結果」を、【目標指標とその達成状況】は、第3期津山市教育振興基本計画にて設定された「取組目標とその結果」を記載しています。

また、【課題】は令和4年度取組実施においての問題点などについて、【今後の方向性】は令和5年度以降の取組についての方向性等を記載しています。

※ 【目標指標とその達成状況】の見方と項目の説明は次のとおり。

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
利用者の満足度 (幼稚園2センター分の平均)	90% 【R2】	91%	97%



(3) 点検・評価の期日

令和5年3月31日

(4) 報告・公表

令和5年9月津山市議会へ報告し、津山市教育委員会ホームページに掲載するとともに事務局での閲覧を行います。

3 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされているため、外部評価者2名の総評を付し、点検・評価の客観性を確保しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年6月30日法律第162号） 抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 令和4年度教育委員会の活動状況

I. 教育委員

氏名	役職	委員就任年月日	任期
ありもと あきひこ 有本 明彦	教育長	平成30年4月1日	平成30年4月1日 ～令和7年3月31日 (3期目)
どい まさひろ 土居 道宏	教育長職務代理者 (令和4年4月1日 ～令和5年3月31日)	令和3年4月1日	令和3年4月1日 ～令和7年3月31日
みつおか ひろふみ 光岡 宏文	委員	平成30年12月25日	平成30年12月25日 ～令和8年12月24日 (2期目)
ふくみ ひろし 福見 弘	委員	令和元年12月25日	令和元年12月25日 ～令和5年12月24日
やくしじ あきこ 薬師寺 明子	委員	令和2年10月1日	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日

2. 教育委員会会議の開催状況

(定例会・・・「定」、臨時会・・・「臨」)

月 日	定・臨	教育長等の報告	議 案	協 議	報 告	その他
4月28日	定	0	6	0	5	3
5月26日	定	0	4	1	8	4
6月23日	定	0	1	1	5	2
7月28日	定	0	4	0	3	4
8月30日	定	0	1	1	4	4
9月22日	定	0	1	1	2	3
10月27日	定	2	1	0	3	4
11月25日	定	1	0	1	0	8
12月23日	定	0	3	0	2	5
1月26日	定	0	2	0	7	3
2月24日	定	2	0	0	4	3
3月10日	臨	0	1	0	0	0
3月27日	定	0	3	0	5	4
合 計		5	27	5	48	47

※定例会12回、臨時会1回開催

3. 教育委員会議決案件

※(非)は非公開とした案件

月 日	議 決 案 件
4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ① 津山市社会教育委員の委嘱について ② 令和4年度 公務を分担する主任等の発令について ③ 津山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等について ④ 津山市教育支援委員会委員の委嘱等について ⑤ 津山市特別支援教育推進センター職員の委嘱等について ⑥ 津山市地域学校協働活動推進委員の委嘱について
5月27日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度 津山市立小・中学校 学校評議員の委嘱について ② 津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱及び解嘱について ③ 津山市青少年育成指導委員の委嘱について ④ 津山市教育相談センター鶴山塾運営委員会委員の委嘱について
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度 津山市教育行政重点施策の策定について

月 日	議 決 案 件
7月28日	① 津山市学習用モバイルルータ貸付事業実施要綱の制定について ② 津山市教育支援委員会委員の委嘱等について ③ 津山市教育支援委員会教育支援専門員の委嘱及び任命について ④ 津山市立幼稚園規則の一部改正について
8月30日	① 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
9月22日	① 津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱について
10月27日	① 津山市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命について
12月23日	① 令和4年度末 津山市立小中学校教職員人事異動方針（案）について ② 今後の津山市立小中学校の体制整備に関する基本方針（案）について ③ 津山市教育相談センター鶴山塾運営委員会委員の委嘱及び解嘱について
1月26日	① 津山市教育相談センター鶴山塾運営委員会委員の委嘱及び解嘱について ② 津山市青少年育成指導委員の委嘱及び解嘱について
3月10日	① 令和4年度末津山市立学校教職員人事異動について（非）
3月27日	① 津山市教育委員会の個人情報保護に関する規則の一部改正について ② 津山市教育委員会規則等における読点の取扱いに関する特別措置について ③ 「今後の津山市立小中学校の体制整備に関する基本方針」（案）に係るパブリックコメントへの回答及び同基本方針の策定について

4. 教育委員会協議案件

※（非）は非公開とした案件

月 日	議 決 案 件
5月26日	令和4年度6月補正予算について（非）
6月23日	津山市立草加部学校食育センター調理業務委託事業者選定について
8月30日	令和4年度9月補正予算について
9月22日	外国語指導派遣業務を委託する業者の選定について
11月25日	令和4年度補正予算（第8次）要求について（非）

5. 教育委員会傍聴者の状況

月 日	内 容	
4月28日	4月定例教育委員会	傍聴者3名
5月27日	5月定例教育委員会	傍聴者3名
6月23日	6月定例教育委員会	傍聴者3名
7月28日	7月定例教育委員会	傍聴者3名
8月30日	8月定例教育委員会	傍聴者2名
9月22日	9月定例教育委員会	傍聴者1名
10月27日	10月定例教育委員会	傍聴者0名
11月25日	11月定例教育委員会	傍聴者1名
12月23日	12月定例教育委員会	傍聴者4名
1月26日	1月定例教育委員会	傍聴者3名
2月24日	2月定例教育委員会	傍聴者3名
3月27日	3月定例教育委員会	傍聴者2名

6. 教育委員協議会の開催状況

月 日	協議題数	月 日	協議題数	月 日	協議題数
4月28日	3	5月26日	2	6月23日	3
7月28日	4	8月30日	5	9月22日	5
10月27日	4	11月25日	4	12月23日	2
2月24日	3	3月27日	3		

※11回開催

7. 各懇談会

月 日	内 容
4月26日	令和3年度教育問題懇談会
6月 3日	市内県立4高校校長との懇談会
7月26日	PTA会長（中央ブロック）との懇談会
7月29日	PTA会長（東ブロック）との懇談会
8月 4日	PTA会長（西ブロック）との懇談会

8. 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 学校訪問

月 日	訪 問 校 及 び 訪 問 施 設	
	小・中学校	小・中学校以外の施設
6月27日	北小学校、一宮小学校、中道中学校	
6月30日	東小学校、鶴山中学校	
7月 6日	鶴山小学校、北陵中学校	鶴山塾
10月11日	弥生小学校、高野小学校	
10月12日	喬松小学校、佐良山小学校、津山西中学校	
11月15日	加茂小学校、清泉小学校	草加部学校食育センター
1月12日	広野小学校、津山東中学校	勝北風の子こども園
1月18日	河辺小学校、新野小学校、勝北中学校	

※小学校13校、中学校6校、教育関係施設3施設

(2) 行事等

月 日	行 事 名
11月14日	第55回津山市子どもまつり（つやまプレーパーク）

(3) 入学(園)式・卒業式

月 日	内 容
4月 8日	市内27小学校入学式
4月11日	市内8中学校入学式
4月12日	つやま西幼稚園、つやま東幼稚園入園式
3月13日	市内8中学校卒業式
3月17日	つやま西幼稚園、つやま東幼稚園卒園式
3月20日	市内27小学校卒業式

(4) 会議・総会・研修会（教育長会議を含む）

月 日	会 議 ・ 研 修 名	場 所
4月 6日	美作地区市町村教育委員会4月定例教育長会議	津山教育事務所
4月19日	第3回津山市小中学校の将来構想検討委員会	津山市役所大会議室
4月27日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	新見市役所

月 日	会議・研修名	場 所
5月24日	第4回津山市小中学校の将来構想検討委員会	津山市役所第1委員会室
5月26日	美作地区市町村教育委員会5月定例教育長会議	津山教育事務所
5月26日	岡山大学と教育委員会との 第1回岡山県北地域教育プログラム協議会	津山教育事務所
6月6日 ～6月28日	令和4年6月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
6月17日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会春季研修会	グリーンヒルズ津山 リージョンセンター
7月4日	第5回津山市小中学校の将来構想検討委員会	津山市役所第1委員会室
7月7日	美作地区市町村教育委員会7月定例教育長会議	西粟倉村あわくら会館
7月12日	令和4年度第1回津山市総合教育会議	津山市役所第1委員会室
7月14日	学校経営・教育相談アドバイザー1学期報告会	津山市役所
8月2日	第6回津山市小中学校の将来構想検討委員会	津山市すこやかこども センター
8月26日	第7回津山市小中学校の将来構想検討委員会	津山市役所第1委員会室
8月29日 ～9月28日	令和4年9月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
8月29日	美作地区市町村教育委員会9月定例教育長会議	津山教育事務所
10月26日	美作地区市町村教育委員会10月定例教育長会議	w e b会議
10月17日	岡山県教育長と市町村教育長との意見交換会	w e b会議
10月27日	美作地区市町村教育委員会11月定例教育長会議	鏡野町立中央公民館
10月30日 ～11月1日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	長崎市ブリックホール、 出島メッセ長崎
11月10日	令和4年度第2回津山市総合教育会議	津山市役所第1委員会室
11月24日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	備前市役所、 ひなせうみラボ
11月11日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会	グリーンヒルズ津山 リージョンセンター
11月28日 ～12月20日	令和4年12月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
11月30日	岡山県市町村教育委員会委員研修会	w e b会議

月 日	会議・研修名	場 所
11月30日	美作地区市町村教育委員会12月定例教育長会議	津山教育事務所
1月10日	美作地区市町村教育委員会1月定例教育長会議	津山教育事務所
2月 2日	美作地区市町村教育委員会2月定例教育長会議	w e b会議
2月 2日	岡山大学と教育委員会との岡山県北地域教育プログラム協議会	w e b会議
2月17日	学校経営・教育相談アドバイザー報告会	津山市役所
2月21日	令和4年度第3回津山市総合教育会議	津山市役所202会議室
2月27日 ～3月22日	令和5年3月津山市議会定例会 本会議・総務文教委員会	津山市議会
3月 2日	美作地区市町村教育委員会3月定例教育長会議	津山教育事務所

(5) 定期発行冊子等

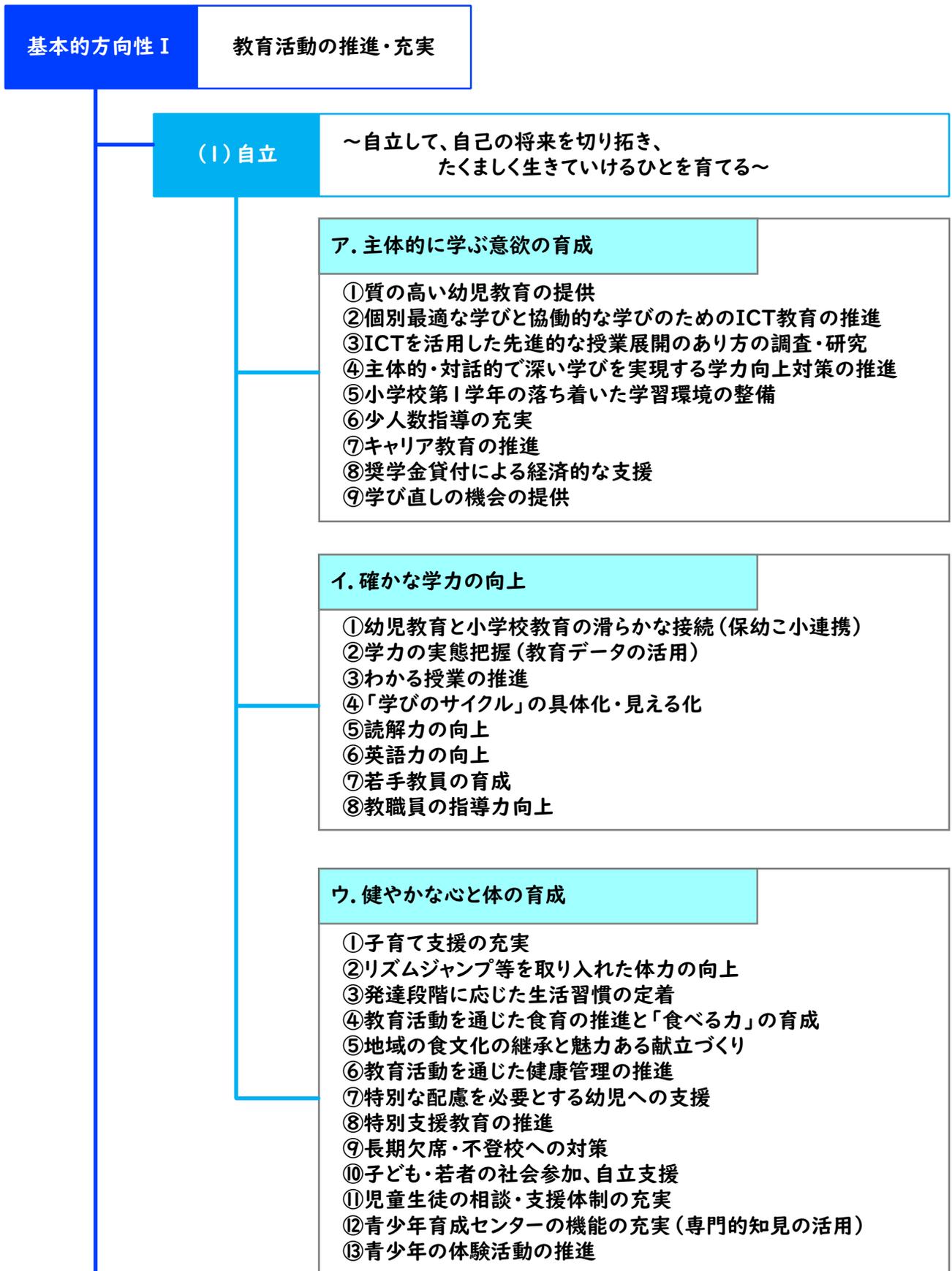
発 行 名	発行担当課	内 容
令和4年度教育行政重点施策	教育総務課	教育委員会の基本方針、具体的施策等を紹介。年1回発行。
令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書	教育総務課	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検・評価したもの。年1回発行。
津山市教育委員会広報誌 津山市教育委員会通信	教育総務課	教育委員会や教育関係施設の活動を紹介したもの。毎月発行。
令和4年度「津山市の教育（教育要覧）」	教育総務課	令和4年度の津山市の教育概要を紹介したもの。年1回発行。
教育相談だよりNOW	次世代育成課 (鶴山塾)	鶴山塾の教育相談状況などを紹介したもの。(教職員向け)年1回発行。

◇令和4年度外部評価者（本報告書の作成に係る学識経験者）

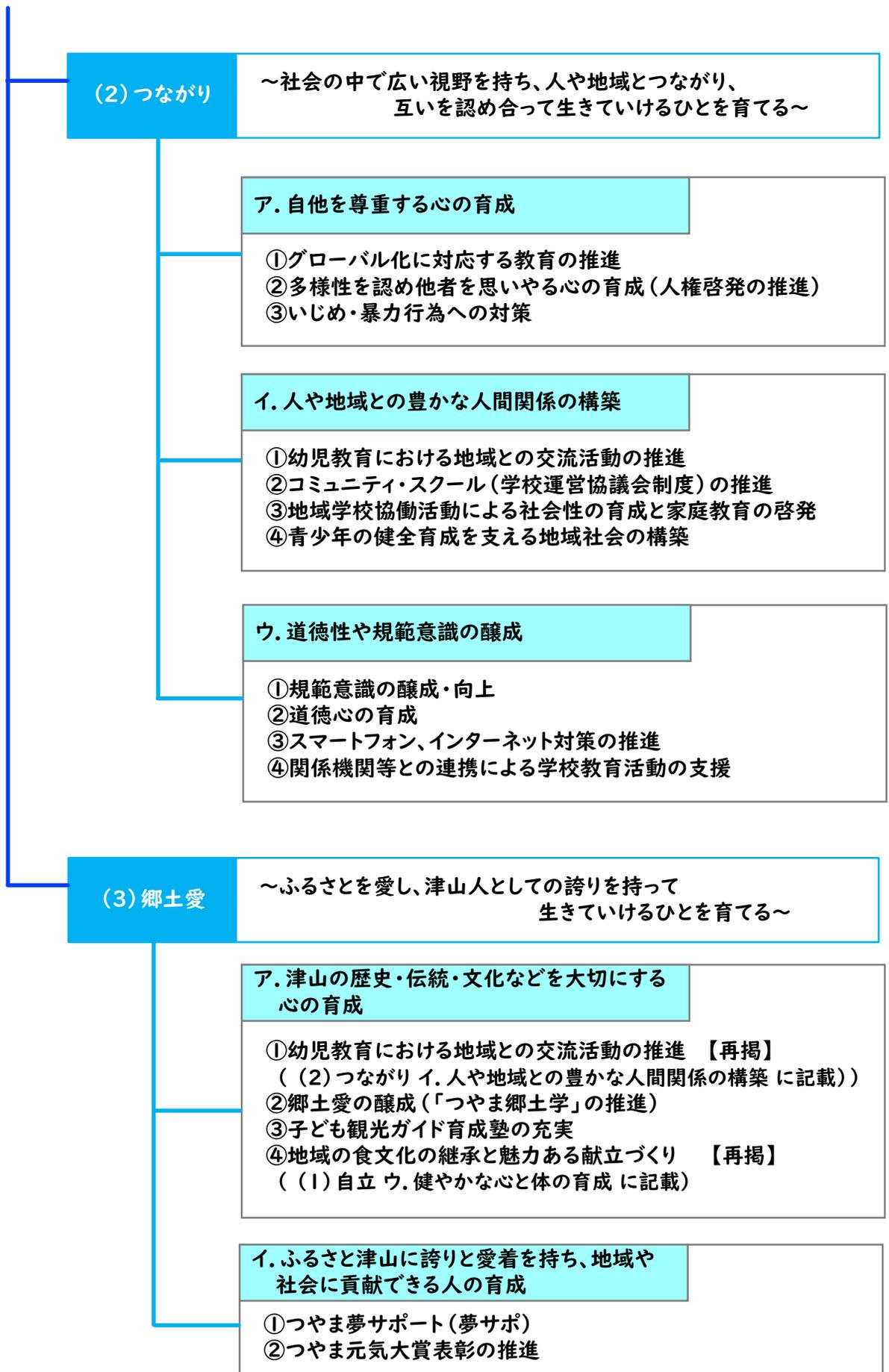
氏 名	所属等
服部 康正	元小学校長
福田 邦夫	津山市教育振興基本計画（第2期）検討委員会委員

Ⅲ 各施策の点検・評価

津山市教育振興基本計画に基づく方向性と施策（一覧）



津山市教育振興基本計画に基づく方向性と施策（一覧）



津山市教育振興基本計画に基づく方向性と施策（一覧）

基本的方向性Ⅱ

教育環境の改善・充実

教育活動を支える環境づくり

～自立し 心豊かにたくましく
将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ア. 安全・安心な学校づくり

- ①幼稚園・小中学校施設整備
- ②安全安心対策
- ③新型コロナウイルス感染症対策や各種環境衛生対策
- ④安全安心に配慮した給食提供と食育センター施設・設備の整備

イ. 良好な教育環境の維持・向上

- ①幼稚園ICT環境整備
- ②学校ICT環境整備
- ③小中学校の適正規模・適正配置
- ④教職員の働き方改革
- ⑤学校給食費の公会計化及び学校事務の効率化
- ⑥児童生徒の相談・支援体制の充実 【再掲】
（（1）自立 ウ. 健やかな心と体の育成 に記載）
- ⑦青少年育成センター機能の充実（専門的知見の活用） 【再掲】
（（1）自立 ウ. 健やかな心と体の育成 に記載）

ウ. 総合的な連携体制の構築

- ①教育委員会活動の活性化
- ②コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進 【再掲】
（（2）つながり イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築 に記載）
- ③親（保護者）学講座の推進

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	①質の高い幼児教育の提供	担当課	こども保育課								
具体施策と実施状況	<p>○岡山県人権学習充実拠点校事業では、つやま西幼稚園の取組を公開保育や研究報告で発表した。県内より77名の参加があり、幼児期に友達や教師に認められる体験を積み重ね、自尊感情を育成することが大切であることを共有した。</p> <p>○外部講師を招聘した資質向上のための研修会を5回、若手職員対象の研修会を1回実施し、参加者アンケートの満足度が97%であった。</p> <p>○教育目標の達成に向けて、日々の実践に努め、職員で協働して指導計画の見直し等を実施し、このことに学校関係者評価委員からの高評価を得た。</p> <p>○英語に親しむ活動としてALTを招いた活動を年3回実施した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園内研修の実施回数 (回/園)</td> <td>12回</td> <td>13回</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	園内研修の実施回数 (回/園)	12回	13回	15回
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
園内研修の実施回数 (回/園)	12回	13回	15回								
課題	<p>◆若手職員の急激な増加のため、OJTを実施しながら、園全体で日常のサポートや協力を行う必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇研究の成果を令和5年度以降にも活用する。</p> <p>◇保育現場に必要なテーマを探り、研修会の実施を継続する。研修会で得た学びを保育実践に活用できるよう、問題意識をもって振り返る機会をつくり、資質向上につなげる。</p> <p>◇ALTを活用し、音楽や簡単な単語などを取り入れた実践も行っていく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	②個別最適な学びと協働的な学びのためのICT教育の推進	担当課	学校教育課
----	-----------------------------	-----	-------

具体 施策と 実施 状況	<p>○ICT活用で先進的に実践する教員を、ICT活用推進員として委嘱し、県内外の視察を行い、好事例収集や各校への情報発信を行った。</p> <p>○学校において、児童生徒が日常的に端末を活用する授業改善に取り組んだ。</p> <p>○学校教育研究センターにおいて、個別最適な学びと協働的な学びを進めるための学習方法等、児童生徒用端末を活用した先導的な取組の実践を行うとともに、教科ごとの実践報告会を行った。</p>
-----------------------	--

目標 達成 度	計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
	教員が「授業でほぼ毎日コンピュータなどのICT機器を使用する」と回答する割合(市独自調査)	【小】30% 【中】38%	【小】50% 【中】60%	【小】37.0% 【中】12.5%

課題	<p>◆学校教育研究センターにおける取組は、推進員や授業者のスキルアップにはなったが、市全職員のICT活用の向上には至っていない。</p> <p>◆授業における児童生徒の日常的な端末の活用状況については、学校間や校内でも差が見られる。</p>
----	---

今後の 方向性	<p>◇ICT活用推進員による端末を活用した授業実践(stage3:児童生徒が主体的に学びを決めて活用する)を各校に提供し、実践普及を図る。</p> <p>◇学校教育研究センター各部会の研究実践と合同報告会の更なる充実を図るとともに、教育委員会とICT活用推進員で連携を図り、先導的取組の研究・実践を行う。</p> <p>◇操作スキルを高めることや、授業などでの活用方法を探るため、学校訪問を通じて校内の推進体制と研修を強化させる。(端末の利用促進から授業改善へ)</p>
------------	--

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	③ICTを活用した先進的な授業展開のあり方の調査・研究	担当課	学校教育課 教育総務課								
具体施策と実施状況	<p>(学校教育課) ○授業の中に、AIドリル「navima」を位置付け、積極的に活用した。</p> <p>(教育総務課) ○NTT西日本、NTTドコモとの連携事業により、VRを活用した「狂言体験」を一宮小学校他3校、勝北中学校で実施。また、「交通安全学習」を1中学校で実施。これにより、ICT技術による新たな学習モデルの確立を目指した。</p> <p>○東京学芸大学との連携により、「AIチャットボットを活用した児童の心のケア」の実証実験を東小学校にて実施。児童の心情把握についての効果などについて検証した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・研究成果の市内小中学校での実践(累計)</td> <td>2校 (実証研究)</td> <td>4校 (実証研究)</td> <td>4校 (実証研究)</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	調査・研究成果の市内小中学校での実践(累計)	2校 (実証研究)	4校 (実証研究)	4校 (実証研究)
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
調査・研究成果の市内小中学校での実践(累計)	2校 (実証研究)	4校 (実証研究)	4校 (実証研究)								
課題	<p>(学校教育課) ◆ICTを活用することで、今後、学習意欲や学びを高めるための効果的な活用方法の研究が必要である。</p> <p>(教育総務課) ◆ICTを活用した教育の実施は、現状では教科以外に偏重している。 ◆ICTを活用した教育に対しては、特定の学校のみが関心を示す傾向があり、市内全校への広がりには欠けている。</p>										
今後の方向性	<p>(学校教育課) ◇学校における端末の利用促進から授業改善への視点の転換をすすめる。</p> <p>(教育総務課) ◇NTT西日本等とのVRなどのICT技術を活用した連携事業において、今後は体育等の教科教育での活用研究・検討に注力していく。 ◇今回実施した実践結果の周知を行い、各学校・教員の関心を高めるよう注力していく。 ◇全国的に課題となっている若手教員の育成について、東京学芸大学によるオープンバッジ等を活用した教育者研修プラットフォームの研究に協力し、参加希望校を研究研修指定校として指定をすすめる。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	④主体的・対話的で深い学びを実現する 学力向上対策の推進	担当課	学校教育課
----	---------------------------------	-----	-------

具体
施策
と
実
施
状
況

- 小中学校に配置している授業改革推進チームを授業改革推進の柱として、岡山型学習スタンダード増補版や生徒の指導の3つの留意点を意識した授業改善等を進めるとともに、授業改善に関わる定期的な情報配信を行った。
- 特別の教科道徳について、小学校1校、中学校1校を市の研究指定校とし、授業を広く公開することで、若手教員等、市内の教職員の指導力向上を目指した。公開授業時には、大学の教授を招聘し、助言を頂くなど、研究を深めた。

目
標
達
成
度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
全国調査「授業で課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】72.5% 【中3】78.8%	【小6】72.5% 【中3】78.8%	【小6】75.4% 【中3】80.1%

課
題

- ◆授業において、教師が説明する場面が多く、児童生徒自身が、思考力・判断力を働かせる授業となっていない場合が多い。
- ◆暗記・再生型の授業から、児童生徒が自ら考える時間を確保するとともに、その理由や根拠を自分の言葉で表現し、話し合わせる場面の設定が少ない。

今
後
の
方
向
性

- ◇授業改革推進チームと連携し、各教科において、授業改善の視点を示したチェックシート(津山市版)等を全校で活用し、授業改善を図る。
- ◇確かな学力の定着に向け、津山市の重点課題として「学びのサイクルの確立」(①授業②家庭学習③確認テスト④補充学習)の取組を徹底して進めるため、各校の取組の具体化・見える化を進め、進捗状況の確認や改善に向けての助言を学校訪問等、年間を通して継続して実施していく。
- ◇一人一回以上の授業公開を全校に働きかけ、教員同士が切磋琢磨しながら「主体的に学びに向かう児童生徒の育成」等のテーマで校内研究等に取り組む。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	⑤小学校第1学年の落ち着いた学習環境の整備	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	○市内4校6学級に年間配置し、就学前からの継続した個別支援ときめ細かな生活・学習規律の定着を図った。										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1年生のすべての学級における授業不成立の学級</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	小学校1年生のすべての学級における授業不成立の学級	0	0	0
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
小学校1年生のすべての学級における授業不成立の学級	0	0	0								
課題	◆1年間配置することにより、生活や学習規律の定着等図られるが、2年生以降は、支援員が配置とならないため、学級が落ち着かなくなる場合がある。										
今後の方向性	◇30人以上の児童が在籍する小学校第1学年に、年間を通じて教育支援員を配置し、個別支援や生活・学習規律の定着、基礎学力の習得等、一人一人へのきめ細やかな指導を実施する。 ◇児童一人一人に寄り添った指導が行われるよう、担任と日頃の情報共有を行うなど、連絡を密に行う。										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	⑥少人数指導の充実	担当課	学校教育課
----	-----------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 小学校において、県費加配教員を効果的に配置し、学級編制の弾力化を行った。
- 市費非常勤講師を配置し、市内6小学校において教科単位での少人数指導や習熟度別などのチーム・ティーチング指導を実施し、きめ細かな授業による、わかる授業の充実を図った。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
各教科で全国平均を上回る(全国の標準スコアを50と見る(全国・県調査))	【小5】	【小5】	【小5】
	国語50.6	国語51	国語51
	算数49.5	算数50	算数52.1
	【小6】	【小6】	【小6】
	国語49.7	国語50	国語49.1
	算数48.9	算数50	算数48.9

課題

- ◆週19時間程度の勤務ができる非常勤の確保が難しい。
- ◆国語や算数に限らず、教科担任制と組み合わせ、他の教科においてもチーム・ティーチングを行うなど、学校独自の工夫が必要である。
- ◆少人数指導により、きめ細やかな指導が行われ、落ち着いた環境づくりは進むが、全市的に配置しておらず、目標値の達成には至らない。

今後の方向性

◇児童一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導体制と安全・安心な教育環境を整備するために、教職員定数(基礎定数及び弾力化定数)を活用して、原則35人以下学級とする基本方針を定め、小学校学級編制の弾力化を継続していく。

※令和7年度には全学年が上限35人学級となる。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	⑦キャリア教育の推進	担当課	学校教育課												
具体施策と実施状況	<p>○文部科学省教科調査官の招聘による、学校教育活動全体を通じたキャリア教育の推進に関する特別講演会を実施し、幼稚園から中学校の全ての教員が「キャリア教育」に関する本質的な理解と具体的イメージの共有ができ、各校で校内研修で具体的な取組を検討する等のキャリア教育の取組が進んだ。</p> <p>○キャリア教育担当者会等において、各中学校ブロックでのキャリア教育推進事例の共有やキャリアパスポートの活用について理解を深めることで、各校のキャリア教育全体計画等の見直しにつながり、多くの学校で学校行事等を生かした取組が実施された。</p>														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #E0F7FA;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #00B0F0;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFEB3B;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】78.8% 【中3】79.0%</td> <td>【小6】83% 【中3】81%</td> <td>【小6】78.6% 【中3】77.4%</td> </tr> <tr> <td>全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】81.2% 【中3】74.4%</td> <td>【小6】84% 【中3】76%</td> <td>【小6】80.4% 【中3】74.1%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】78.8% 【中3】79.0%	【小6】83% 【中3】81%	【小6】78.6% 【中3】77.4%	全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】81.2% 【中3】74.4%	【小6】84% 【中3】76%	【小6】80.4% 【中3】74.1%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
全国調査「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】78.8% 【中3】79.0%	【小6】83% 【中3】81%	【小6】78.6% 【中3】77.4%												
全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】81.2% 【中3】74.4%	【小6】84% 【中3】76%	【小6】80.4% 【中3】74.1%												
課題	<p>◆指標とする調査項目では、目標値に必ずしも達成していないが、キャリア教育担当者会を通じて、キャリア教育の理解は着実に図られている一方で、児童生徒自身が自分の成長を自覚する取組であるキャリアパスポートの活用について、より具体的かつ効果的な取組を実施する必要がある。</p> <p>◆キャリア教育に限らず、児童生徒自身が自分の良さや自己理解を促す取組を、つやま郷土学の取組等、学校教育のさまざまな場面で推進する必要がある。</p>														
今後の方向性	<p>◇学校教育活動全体を通じてキャリア教育の充実を図るために、管理職・キャリア教育担当等を中心として校内での取組を推進するとともに、各校での実践等を市内で共有を行う。</p> <p>◇児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な力を身に付けていくことができるよう、キャリアパスポートを効果的に活用し、児童生徒自身が自分の成長を自覚できる取組を継続して推進する。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	⑧奨学金貸付による経済的な支援	担当課	次世代育成課
----	-----------------	-----	--------

具体施策と実施状況

○令和4年度の新規貸与は6人であった。
○実施にあたっては、大学や高校などの関係機関や市のホームページ等を通じて情報提供や制度の周知に努めた。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
奨学金募集定員に対する応募率	90% (R2)	100%	60%

課題

◆令和4年度の新規奨学生の募集については、例年と同様の方法で周知を図っており、募集定員の増減もないが、この年度については、ニーズが少なかったと考えている。(令和5年度募集は、定員11名に対して応募者は19名となり、奨学金募集定員に対する応募率は100%を超えている。)
なお、津山市奨学金については、定住促進の観点から減免措置を実施し、基金を取り崩して貸与を継続しているため今後の財源確保について検討する必要がある。

今後の方向性

◇引き続き、情報提供や制度の周知に努め、学業が優秀で学ぶ意欲があるのに、経済的理由により学ぶことが困難な生徒、学生に対して奨学金貸付による経済的な支援を継続していく。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

取組	⑨ 学び直しの機会の提供	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	◇まなびカフェについては、相談員2名と職員1名で相談、支援を実施し、令和5年3月末時点での学習支援者は2名であった。										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>義務教育内容の学び直し事業 「まなびカフェ」参加者数</td> <td>6名 (R2)</td> <td>8名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	義務教育内容の学び直し事業 「まなびカフェ」参加者数	6名 (R2)	8名	2名
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
義務教育内容の学び直し事業 「まなびカフェ」参加者数	6名 (R2)	8名	2名								
課題	◆令和4年度現況値2名の要因は、転出、就労、就学により対象者が減少したことによるものである。中学校卒業後に所属のない人に対する新規の相談や支援は開始しており、このような方の学習支援につなげていくことが必要である。										
今後の方向性	◇ニートやひきこもり状態への支援の一環として学び直しの機会を提供を継続し、令和5年度は、中学校在学中や高校通信課程に所属する者に対しても学習支援を実施し、引き続き幅広く対象者のニーズを拾い上げるよう務めていく。 また、参加しやすい場所として、学習希望者の自宅付近の公民館や市役所内の会議室が挙げられる。保護者らの送迎が難しい人や、平日の昼間に同年代には会いたくない人への対応にも務めていく。										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

イ. 確かな学力の向上

取組	①幼児教育と小学校教育の滑らかな接続 (保幼小の連携)	担当課	こども保育課 学校教育課
----	--------------------------------	-----	-----------------

具体
施策
と
実
施
状
況

(こども保育課)
 ○「津山市共通支援シート」はモデル園8園で活用実施し、意見等を集約して様式を修正。就学時には小学校へ送付し、情報連携につなげた。また、保幼小の職員合同の共通支援シート活用のための研修会を1回実施した。
 ○接続カリキュラムを活用した保幼小連携担当者会を実施し、発達や学びをつなぐために情報共有した。
 ○各幼稚園との管理職会を年2回実施し、交流活動を遂行することができた。また、幼稚園等の公開保育3回、小学校生活科の授業公開1回を実施し、相互理解の場として有効であった。(学校教育課)
 ○公立幼稚園と小学校との交流活動(学習発表会の見学など)を行った。

目
標
達
成
度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
「アプローチカリキュラム」・「スタートカリキュラム」について、職員合同研修や協議の回数【2園合計】	8回 (分散研修会のため)	8回 (学期に1回の研修会実施予定)	8回

課
題

(こども保育課)
 ◆連携に対する職員一人一人の理解には差があるため、広く周知するには研修会等を継続することが必要である。
 ◆市内全園で「共通支援シート」を活用するが、各園の取組差が生じるため、幼児教育職員対象に研修会を実施する必要がある。
 ◆管理職会は定例化してきているが、交流活動だけではなく、カリキュラムをつなぐ接続の意識を高めていく必要がある。(学校教育課)
 ◆交流未実施の園が小学校と継続して交流活動ができるよう、管理職同士で話し合いを持ち実施を目指していく必要がある。

今
後
の
方
向
性

(こども保育課)
 ◇令和5年度は「津山市共通支援シート」を全園実施する。
 ◇小学校での確実な活用へ向けての周知を進める。
 ◇共通支援シートや連携のための研修会等を継続実施していく。(学校教育課)
 ◇管理職会で、計画した交流活動及び成果と課題について話し合う機会をもち、交流の充実を図っていくと共に、その取組を市内へ普及していく。
 ◇公開保育等の参観を通して、小学校と園ともお互いの教育について理解を深めるとともに、カリキュラムについて見直す機会を設ける研修を行う。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

イ. 確かな学力の向上

取組	②学力の実態把握（教育データの活用）	担当課	学校教育課 教育総務課								
具体施策と実施状況	(学校教育課) ○AIドリル「navima」の積極的な活用を各校に促し、データを蓄積した。 (教育総務課) ○「まなびポケット」による「教育データ」の収集を実施。 ○NTT西日本及びNTTドコモとの連携で、教育データの可視化の方策について検討・研究。										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育データ可視化システム導入 学校数(累計)</td> <td>2校 (実証)</td> <td>2校 (実証)</td> <td>2校 (実証)</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	教育データ可視化システム導入 学校数(累計)	2校 (実証)	2校 (実証)	2校 (実証)
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
教育データ可視化システム導入 学校数(累計)	2校 (実証)	2校 (実証)	2校 (実証)								
課題	(学校教育課) ◆AIドリル「navima」の活用データをどのように学校現場で活用していくかが課題である。 (教育総務課) ◆データは順調に収集できたが、まなびポケットのデータ分析等の可視化機能がまだ実装されておらず、その間は別のツールも活用したが、データ分析や必要なデータの抽出等の技術的課題がある。 ◆分析や抽出したデータについて、「どのような目的で活用するか」という活用目的の明確化が必要である。										
今後の方向性	(学校教育課) ◇AIドリルの蓄積データを分析し、個別最適化された指導法やドリルの活用方法を周知する。 (教育総務課) ◇別ツールでの必要データの検討及び教育委員会側のデータ抽出作業環境の構築を進める。 ◇学校現場のニーズを踏まえたデータ分析及び抽出及びモデル校を中心とした抽出データの活用法確立を進める。										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

イ. 確かな学力の向上

取組	③わかる授業の推進	担当課	学校教育課
----	-----------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 基礎的な学力の定着と活用の力の育成を図るため、AIドリル「navima」の活用を積極的に進めた。
- 授業力の向上や多面的な児童理解、学習意欲の向上、若手教員の増加等の新たな対策として、小学校高学年の教科担任制を全学校で実施した。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
全国調査「国語・算数(数学)の授業の内容がよくわかる」の項目で肯定的な回答の割合	【小6】	【小6】	【小6】
	国語85.2%	国語86%	国語87.1%
	算数84.4%	算数85%	算数82.5%
	【中3】	【中3】	【中3】
	国語77.5%	国語78%	国語83.9%
	数学74.9%	数学76%	数学81.6%

課題

- ◆AIドリル「navima」の活用データをどのように学校現場で活用していくかが課題である。
- ◆各教員の得意な教科で複数学年、又は複数学級を担当するため、教員にとっては教材研究や指導法の更なる工夫により専門性の向上につながってきている。

今後の方向性

- ◆AIドリル「navima」を授業や教育活動の中に位置付け、個別最適化された学びのサイクルを構築し、基礎基本の徹底や活用力の定着を図る。
- ◆授業改革推進チームと連携し、授業改善の視点を示したチェックシート等を活用し、授業改善についての指導助言を行うとともに、県内外の授業改善やその取組の好事例の収集を行い、最新の情報を発信する。
- ◆小学校において、児童の学習意欲の向上、若手教員の増加等の新たな対策として、学年担任制を引き続き推進する。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

I. 確かな学力の向上

取組	④「学びのサイクル」の具体化・見える化	担当課	学校教育課
----	---------------------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 確かな学力の定着に向け、津山市の重点課題として「学びのサイクルの確立」（①授業②家庭学習③確認テスト④補充学習）の取組を行い、課題のある学校については見直しを指示し、徹底を図った。
- 「学びのサイクル」の中にAIドリル「navima」を位置づけ、積極的な活用を促した。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
「学びのサイクル」において、事後的検証のための具体的かつ客観的な取組指標を設定している学校数	【小】12 【中】4	【小】20 【中】6	【小】17 【中】4
県調査「学校で行われる補充学習（授業以外の学習）に参加している」児童生徒の割合	【小5】55.9% 【中2】52.1%	【小5】58% 【中2】55%	【小5】39.7% 【中2】35.5%

課題

- ◆管理職を通じて、「学びのサイクル」の具体的な取組内容を記載するよう指示しているが、作成に当たって、担当者まで指示が周知できていない。
- ◆補充学習について、学校で時間を定め取り組んでいる学校は少なく、個別で対応しているケースが多い。

今後の方向性

- ◇確かな学力の定着を図るため、「学びのサイクル」において、各校で取り組む内容や検証方法が具体的な数値目標となるよう、学校訪問や校園長会等で確認を行い、取組の確認と徹底を継続していく。
- ◇補充学習において、学校毎の個別の対応に委ねず、授業や家庭学習と連動を図るなど、全ての児童生徒が参加できるように、取り組んでいく。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

イ. 確かな学力の向上

取組	⑤読解力の向上	担当課	学校教育課
----	---------	-----	-------

具体
施策
と
実施
状況

- 各学校の「学びのサイクル」に新聞教材やワークシート、読書活動等読解力向上の手立てを位置づけ、各学校の児童生徒の実態を踏まえた取組を進めた。
- AIドリル「navima」による読解力育成問題の活用を各校へ促した。
- 司書教諭を中心に学校司書、図書整理員と連携し校内読書週間や委員会活動をととして学校図書館を活用した授業や調べ学習等の充実に取り組んだ。

目標
達成
程度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
全国調査国語科「読むこと」の正答率における全国平均値との差	【小6】-3.7 【中3】-4.4	【小6】-2 【中3】-3	【小6】-5.2 【中3】-6.3
全国調査「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、どれくらいの時間、読書をしますか」の項目において、読書を全くしない割合	【小6】30.1% 【中3】41.6%	【小6】25% 【中3】35%	【小6】28% 【中3】32%

課題

- ◆デジタルメディアの普及を背景とした、情報の短文化、ビジュアルコンテンツの増加により、長文の読解力や集中力が続かない。
- ◆読書時間や読書数が確保されていても、読書の習慣や長い文章を読み込む機会が不足していると考えられる。
- ◆読んだ内容を他者に伝える経験が少ないことなどが考えられる。

今後
の
方向
性

- ◇児童生徒の論理的思考及び論理的構造を読み解く力などの課題を克服するため、新聞教材「よむYOMUワークシート」を年間を通じて活用し、読解力の育成を図る。
- ◇家庭学習時間の確保を促すとともに、読書活動の推進に継続的に取り組む。
- ◇津山市立図書館や学校司書と連携した読書活動への参加や本に親しみ意欲の高まる図書室の環境づくりなどをすすめる。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

イ. 確かな学力の向上

取組	⑥英語力の向上	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○外国語授業力向上研修会を年2回開催し、津山市英語教育スーパーバイザー（大学講師）からの指導・助言を通じて、小中連携についての理解を深め、具体的な取組につなげた。</p> <p>○東中学校、鶴山中学校の2校合同中学校ブロックで、各校の課題に応じた研修を企画・実施し、小中で連携した取組の実施・検証や今後の授業実践についての理解を深めた。</p> <p>○小学校3年生以上の英語授業には、英語専科教員や英語支援員を配置し、英語に慣れ親しむとともに、コミュニケーションの基礎を身につけるなど、小学校英語の充実を図った。</p> <p>○外国人講師（ALT）の派遣を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度及び実践的な言語能力の育成を図った。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」の項目で肯定的な回答する割合</td> <td>【小6】74.7% 【中3】70.9%</td> <td>【小6】76% 【中3】72%</td> <td>未測定 (全国調査に質問項目無し)</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」の項目で肯定的な回答する割合	【小6】74.7% 【中3】70.9%	【小6】76% 【中3】72%	未測定 (全国調査に質問項目無し)
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
全国調査「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」の項目で肯定的な回答する割合	【小6】74.7% 【中3】70.9%	【小6】76% 【中3】72%	未測定 (全国調査に質問項目無し)								
課題	<p>◆担任による英語指導の専門性及び経験の不足から、授業中において教員、生徒が英語を実際に使う機会が、まだまだ十分ではない。</p> <p>◆教員の授業改善・指導力向上が不十分である。（「教える」から「学ぶ」への転換）</p> <p>◆全国学力調査において、英語の実施が3年に1回のため、全国調査が毎年行われない。新たな目標設定を考える必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇生徒の英語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指し、教員の英語指導力向上及び授業改善の取組を推進する。</p> <p>◇外国人講師（ALT）の活用等、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図る言語活動の充実を継続的に実施する。</p> <p>◇語彙力の強化のために、日々の授業や家庭学習においても、AIドリル「navima」の活用をすすめる。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅰ		教育活動の推進・充実									
(Ⅰ) 自立		～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～									
Ⅰ. 確かな学力の向上											
取組	⑦若手教員の育成	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○市独自の「津山市若手教員育成チェックシート」の5つの視点(資質能力)について4段階の指標に基づく評価を行い、学校と学校経営アドバイザー、教育委員会とが連携し若手教員の育成を継続的に実施した。</p> <p>○初任者の実態を踏まえ、市独自で初任者研修を年2回開催した。また、学校のニーズに応じて、指導主事による直接訪問指導及び各校において校内OJT体制を構築し、若手教員の授業実践力向上や先輩教員の指導助言力向上のための研修会等を行い、継続的な人材育成を進めた。</p>										
目標達成度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画中の指標</th> <th>計画策定時の現況値</th> <th>R4目標値</th> <th>R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「津山市若手教員育成チェックシート」5つの視点の評価点(各4点満点)の平均</td> <td>【小】2.3 【中】2.4</td> <td>【小】2.5 【中】2.6</td> <td>【小】2.9 【中】3.1</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	「津山市若手教員育成チェックシート」5つの視点の評価点(各4点満点)の平均	【小】2.3 【中】2.4	【小】2.5 【中】2.6	【小】2.9 【中】3.1
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
「津山市若手教員育成チェックシート」5つの視点の評価点(各4点満点)の平均	【小】2.3 【中】2.4	【小】2.5 【中】2.6	【小】2.9 【中】3.1								
課題	<p>◆退職者や産休・育休者が多く、新採用者や新規講師の配置が多いため、各校若手の育成や教育力の向上が急務となっている。</p> <p>◆全ての学校に若手の教員が配置となるが、育成に携わる中堅教員が不足している。</p>										
今後の方向性	<p>◇学校経営アドバイザーと指導主事が定期的に連絡会を設け、「津山市若手教員育成チェックシート」を活用し、教員に求められる資質能力に基づいた指導・支援について検討する。</p> <p>◇各校において校内OJT体制を構築し、若手教員の授業実践力向上や先輩教員の指導助言力向上のための研修等を行い、組織的かつ継続的な人材育成を継続的に進める。</p> <p>◇学校訪問や管理職から依頼があった場合等、指導主事が訪問を行い、授業の組み立て方や学級経営等の指導・助言を行う。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

I. 確かな学力の向上

取組	⑧教職員の指導力向上	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改革推進チームと連携し、本市の課題に応じた研修(学力向上担当者会等)を実施するとともに、課題解決に向けた情報提供や指導助言を行った。 ○学校教育研究センターにおいて、個別最適な学びと協働的な学びを進めるための学習方法等、児童生徒用端末を活用した先導的な取組の実践を行うとともに、教科ごとの実践報告会を行った。 ○市内小中学校で先駆的な実践をしている教員6人を「ICT活用推進員」として委嘱し、教員のICTを活用した授業改善や活用の推進、市内外の好事例の収集と市内への普及などを図った。 ○市内2校において、岡山大学講師を招聘し、校内の課題を明らかにするとともに非認知能力に関する校内研修及び授業公開を行った。 										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に反映している」の項目で肯定的な回答をした学校数</td> <td style="text-align: center;">【小】17校 【中】5校</td> <td style="text-align: center;">【小】19校 【中】6校</td> <td style="text-align: center;">未測定 (全国調査に 質問項目無し)</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に反映している」の項目で肯定的な回答をした学校数	【小】17校 【中】5校	【小】19校 【中】6校	未測定 (全国調査に 質問項目無し)
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
全国調査「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に反映している」の項目で肯定的な回答をした学校数	【小】17校 【中】5校	【小】19校 【中】6校	未測定 (全国調査に 質問項目無し)								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校教育研究センターにおける取組は、推進員や授業者のスキルアップにはなったが市全教職員のICT活用の向上には至っていない。 ◆授業において、児童生徒が日常的に端末を活用しているかという点、学校間や校内でも活用に差が見られる。 ◆全国学習状況調査は、年度により調査項目がない場合がある。市独自で調査を行うなど、新たな目標設定を考える必要がある。 ◆非認知能力の研修を通じて、振り返りシートなどを作成し、授業等の中で自己肯定感を育成していくが、学校アンケート等で児童の変容を追っていく必要がある。 										
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業改革推進チームと連携し、本市の課題に応じた研修(学力向上担当者会等)を実施するとともに、課題解決に向けた情報提供や指導助言を継続する。 ◇教育課題に応じた研修会を開催し、担当者による他校との協議や実践交流を継続的に実施する。 ◇ICT活用推進員と連携し、教員の操作スキルを高めることや、ICTの授業での活用方法の実践・研究を継続し、市内全小中学校へ広める。 ◇自己理解や感情などのテストや数値では測れない能力である「非認知能力」について、継続して外部講師を招聘し、授業研究や校内研修、学校行事等を通して、児童生徒の自己肯定感を高める。 										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	①子育て支援の充実	担当課	こども保育課								
具体施策と実施状況	<p>○幼稚園の一時預かり事業では、保育開始前、保育終了後の時間延長を拡充したことにより、保護者が働きやすくなり利用者が増加した。</p> <p>○地域子育て支援センター事業として、出前保育を22回、子育て講座を33回、ICTを活用したオンラインイベントを20回実施した。各支援センター合同のオンラインイベントも2回開催した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #00a0e3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #00e0e0; color: white;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00; color: white;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者の満足度 (幼稚園2センター分の平均)</td> <td>90% 【R2】</td> <td>91%</td> <td>97%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	利用者の満足度 (幼稚園2センター分の平均)	90% 【R2】	91%	97%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
利用者の満足度 (幼稚園2センター分の平均)	90% 【R2】	91%	97%								
課題	<p>◆保護者が安心して子育てができるよう、保護者のニーズを探る必要がある。</p> <p>◆地域子育て支援センターの相談業務において、現状ではICT利用者はいないが、今後必要となる可能性がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇子育ての悩みを気軽に相談できる場としての地域子育て支援センターの役割を継続していく。</p> <p>◇相談業務でのICT利用に対して、柔軟に対応できるような体制を継続していく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	②リズムジャンプ等を取り入れた体力の向上	担当課	こども保育課 学校教育課
----	----------------------	-----	-----------------

具体施策と実施状況

(こども保育課)
○専門指導者を招聘してのリズムジャンプの取組を11回実施し、日常の遊びや運動会等の行事にも取り入れ、幼児の運動能力向上につなげた。

(学校教育課)
○岡山県が実施する「みんなでチャレンジランキング」への参加や「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の活用を進め、運動に親しむ環境づくりに努めた。
○市主催の初任者研修におけるリズムジャンプ研修会の実施や、リズムジャンプ指導者養成講座の継続を行った。
○リズムジャンプの拡大により、スポーツに関する意欲や運動能力の向上が進んだ。

目標達成度	計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
	リズムジャンプ実施回数【幼稚園】(回/園)	13回 (R2)	15回	15回
全国体力調査「体育の授業は楽しい」の項目で肯定的な回答をした児童の割合【小学校(5年生)】	男子71.1% 女子55.5% (R3)	男子72% 女子58%	男子75.4% 女子61.2%	

課題

(こども保育課)
◆リズムジャンプに幼児自身が楽しんで繰り返し取り組むことで、リズム感やジャンプ力が身に付き、縄跳びや走ることなど、様々な運動遊びに活かされているが、体を動かす遊びに対して苦手意識をもっている幼児に対しては、個人差に応じた対応をする必要がある。

(学校教育課)
◆今後も、研修会等で継続的に周知する必要がある。

今後の方向性

(こども保育課)
◇幼児教育職員がリズムジャンプのへの理解やスキルを高めることが重要であり、指導者招聘による職員対象研修会を実施する。

(学校教育課)
◇全小学校においてリズムジャンプを取り入れた体育授業を推進するとともに、市主催の初任者研修においてリズムジャンプ研修会を実施する。
◇友だちと協力する場の設定や運動習慣の定着を目指し、「みんなでチャレンジランキング」や「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の積極的な参加や活用を呼びかけ、体力向上を図る。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	③発達段階に応じた生活習慣の定着	担当課	こども保育課 保健給食課
----	------------------	-----	-----------------

具体施策と実施状況

- (こども保育課)
○基本的な生活習慣を定着させるための家庭を巻き込む取組として、チャレンジカードの活用を継続的に実施した。これにより保護者の意識が高まった。
- (保健給食課)
○「おうちで作ろう!学校給食おすすめレシピ」をテーマにレシピ集を作成し全小中学校に配付。また、「夏休みレッツチャレンジクッキング」は小学校5年生～中学生を対象に「夏もおうちでカルシウム～作ろうカルシウムたっぷりレシピ～」をテーマにレシピを募集し、応募のあった2,139点を展示、応募作品からレシピ集を作成し全小中学校に配布した。
- 小学校5年生、中学校2年生を対象に「食生活についてのアンケート」を行うとともに、給食指導や給食だより等様々な機会を通して啓発活動を実施した。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
朝食を毎日食べる子【幼稚園】	90% 【R2】	92%	94%
朝食を毎日食べる子【小学校(5年生)】	77.5% 【R2】	90%	79.3%
朝食を毎日食べる子【中学校(2年生)】	73.3% 【R2】	85%	71.7%

課題

- (こども保育課)
◆家庭を巻き込んだ取組のため、各家庭の状況により数値にも影響があるため、啓発活動を継続する必要がある。
- (保健給食課)
◆レッツチャレンジクッキングの認知度が高まり、応募数も増えていることから、児童生徒の食に対する意識向上が見られる。また、食生活アンケートにおいても、「朝食を食べることは大切だ」と回答した児童生徒は全体の8割以上となり、朝食摂取の重要性は理解できているという結果が得られた。これらをふまえ、今後は、児童生徒自身の意識向上だけでなく、家庭と連携し、朝食摂取率が上昇するなどの行動変容につながる継続した取組が必要である。

今後の方向性

- (こども保育課)
◇幼児期には特に家族の生活リズムが大きな影響を及ぼすため、生活習慣の大切さについて引き続き啓蒙し、チャレンジカード等を活用したきっかけづくりの場の設定を継続する。
- (保健給食課)
◇生活習慣の見直しは児童生徒だけでなく家庭への働きかけが重要であることから、例年実施している取組を継続することに加え、保護者等を対象とした研修会を新たに実施する。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	④教育活動を通じた食育の推進と「食べる力」の育成	担当課	保健給食課								
具体施策と実施状況	<p>○栄養教諭等は、給食時間や家庭科等の各授業において食に関する指導を行った。</p> <p>○各食育センターにおいて、給食だよりを毎月発刊し、学校を通じて給食献立表と合わせ配布した。</p> <p>○HP等情報ツールを活用し給食献立のレシピ紹介を行った。また、学校で児童生徒が視聴できる食に関する動画を作成し、校務支援システムを通して提供した。</p> <p>○2校の中学校において、岡山県の受託事業「部活動を通じた食育の実践」に年間を通して取り組んだ。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #00a0e3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa; color: white;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4; color: white;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養教諭による食に関する指導 取組の1校当たりの回数 ※回数=全体の回数/35校</td> <td>9回 (R2)</td> <td>10回</td> <td>14回</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	栄養教諭による食に関する指導 取組の1校当たりの回数 ※回数=全体の回数/35校	9回 (R2)	10回	14回
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
栄養教諭による食に関する指導 取組の1校当たりの回数 ※回数=全体の回数/35校	9回 (R2)	10回	14回								
課題	<p>◆児童生徒が動画を視聴することで、食に関する課題を認識できた。また、県との受託事業においては、生徒自身が食のバランスや自分に必要な食事量を把握し実践できるようになった。一方で、上記のような取組が児童生徒全体にさらに広がる必要があり、児童生徒が自分自身の適正な食事量を把握し、給食を含め生活において自ら実践できるような具体的な行動の変容にはまだ不十分である。</p> <p>◆給食だよりに対する保護者の関心や活用の有無、他のニーズなどを知ることが必要である。</p>										
今後の方向性	<p>◇保護者等に対して、食や給食に対する認知度を把握するため、給食試食会等でアンケートを実施する。また、保護者ニーズに応えた啓発資料を作成し、給食や食育に対する保護者等の意識変容を図る。</p> <p>◇児童生徒が適正な食事量を把握できるような取組を継続していく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑤地域の食文化の継承と魅力ある献立づくり	担当課	保健給食課
----	----------------------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 契約栽培農家との意見交換会を定期的開催し、献立作成の段階で野菜の使用量や収穫量の情報共有を行った。これにより、献立に反映され、計画的な地場産野菜の使用につながった。
- 「津山・岡山食べようday(でえ～)」を毎月実施した。これにより、より積極的に地場産物を使用することとなり、使用割合の目標値達成となった。
- 津山産小麦を学校給食用麺の原料として使用するために関係課と調整を進めた。
- 各小中学校と教育委員会は給食残食減少行動計画を作成し目標値を定め取り組んだ。
- 中学校において、牛乳残量減少につなげる取組として3学期に代替品を1回提供するとともに、アンケートを実施した。これにより、生徒の実情やニーズがより明確になったことで、次年度への具体的な取組につながった。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
年間を通して学校給食に地場産物を使用する割合 ※使用割合＝岡山県産品目数／全使用品目数×100	37.5% 【R2】	40%	40%
学校給食残食の割合 【小学校】	4.7% 【R2】	4%以下	5.6%
学校給食残食の割合 【中学校】	15.7% 【R2】	12%以下	17.9%

課題

- ◆契約栽培農家が給食用食材の栽培を持続的に取り組めるように、関係課等と連携した取組や仕組みづくりが早急に必要である。
- ◆残食減少については、継続した取組が必要である。また、給食における喫食時間の不足(特に中学校)や、自身の適正量を把握し残さず食べることにつながる工夫などについて、検討が必要である。

今後の方向性

- ◇契約栽培農家との意見交換等を継続するとともに、課題(端境期対応・余剰野菜の対応など)解決につながる取組を研究する。
- ◇残食減少を目指して、今まで実施してきた各取組は児童生徒にも好評なことから継続する。
 <具体的取組>「もう一口食べよう!もぐもぐ木曜日」「リクエスト給食」「セレクト給食」
 「津山・岡山食べようday(でえ～)」
- ◇牛乳残量減少につなげる取組として、代替品の提供回数を増やすとともに、他の取組を研究する。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑥教育活動を通じた健康管理の推進	担当課	保健給食課
----	------------------	-----	-------

具体
施策
と
実施
状況

○本市の児童生徒の健康診断結果(肥満・痩せ・視力)の経年変化を取りまとめ、課題と活用について養護教諭と情報共有を図った。
○健康診断結果の取りまとめを校務支援システムに掲載し、各校での啓発媒体として活用した。また、保護者への配布物や保護者懇談等で啓発媒体として活用した。
(活用校:18校)

目標
達成
度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
肥満割合【小学校】	11.5% (R2)	8%以内	12.6%
肥満割合【中学校】	10.9% (R2)	8%以内	11.4%

課題

◆対象者が食事等生活習慣の改善の必要性に気づき、行動を変えることができるような取組を、引き続き栄養教諭・養護教諭と情報共有しながら進めていく必要がある。

今後
の
方向
性

◇「食生活アンケート」や「健康診断結果の共有」等の児童生徒の実態把握や情報発信、学校・関係機関との連携した取組を継続する。
◇市の公式ラインで定期的に健康課題について情報配信を実施する。(肥満・痩せ・虫歯等)

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑦特別な配慮を必要とする幼児への支援	担当課	こども保育課
----	--------------------	-----	--------

具体施策と実施状況

- 公立幼稚園の特別支援室を活用し、自園の園児7名の通級指導を実施した。保護者の送迎負担が軽減され、幼稚園職員との連携がさらに図りやすくなった。
- 必要な園児に対して「津山市共通支援シート」を活用したことで、職員間の共通理解やインクルーシブな教育活動、関係機関との情報共有につながった。
- 通級指導教室の指導経験者による日常研修の実施により、職員一人一人のスキルUPにつながった。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
特別支援教育に関する研修回数（回／園）	12回	14回	13回

課題

- ◆幼稚園の特別支援室の活用は、構音指導を中心とした園児に実施しているが、該当児が不在な場合があるため、障害種の対象を広げることも考える必要がある。
- ◆指導計画等として「津山市共通支援シート」を活用する意識は高いが、該当児の必要な情報として記載すべき内容については、職員個々のスキルや専門性を高める必要がある。

今後の方向性

- ◇幼児一人ひとりの教育的ニーズに対応した適切な支援の充実に向けて、「津山市共通支援シート」を様々な場面で活用するとともに、内容等の記載について研修会を実施し、職員のスキル向上を図る。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑧特別支援教育の推進	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○各校での教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るために、特別支援教育推進センターに、特別支援教育ナビゲーターを配置し、各校への巡回相談や、通級による指導の充実を図った。</p> <p>○特別支援教育コーディネーター研修を開催し、個別の教育支援計画等の作成、校種間の引継ぎ等に関する研修を実施し、各校への指導・支援につなげた。</p> <p>○医療的ケアを必要とする児童生徒に対しては、自立して健康で安定した学校生活に向け、学校看護師の配置等、支援体制の充実を図った。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った」と回答する割合(全国学習調査・学校質問紙)</td> <td>41.9% (H30,R1,R3平均)</td> <td>44%</td> <td>56.5%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	「特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った」と回答する割合(全国学習調査・学校質問紙)	41.9% (H30,R1,R3平均)	44%	56.5%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
「特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った」と回答する割合(全国学習調査・学校質問紙)	41.9% (H30,R1,R3平均)	44%	56.5%								
課題	<p>◆特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会実施や特別支援教育ナビゲーターにより、各校の校内体制を把握し、各校の課題に応じた支援(資料提供を含む)を継続的に行ったことにより、各校の校内体制の充実につながったと考えられるが、今後は児童生徒の特性の把握と支援方法等についてより具体的な理解を促していく必要がある。</p> <p>◆就学先(学びの場)の検討にとどまらず、児童生徒の将来的な自立や社会参加を見据えた支援の充実とその支援を就学先等へつなげる等、一貫した教育支援についての理解を一層促す必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇(継続)「津山市特別支援教育推進センター」に2名(小中1名ずつ)の特別支援教育ナビゲーターを配置することで機能を強化し、児童生徒の特性把握や特性に応じた支援を行うことで各校の特別支援教育の充実を図る。</p> <p>◇児童生徒の個別の教育支援計画等の活用(引継ぎを含む)について、一貫した教育支援の観点から、長期的な展望に立ち児童生徒の自立や社会参加に向けた取組となるよう研修等で理解を促す。</p> <p>◇特別支援教育コーディネーターを対象の研修会を実施し、校内の特別支援教育推進の具体的な方策や、専門性の向上、校種間連携等について理解を促す。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑨長期欠席・不登校への対策	担当課	学校教育課
----	---------------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 個々の生徒の状況に応じた学習支援や生活支援等の充実を図るため「新しい居場所（別室）」を設置し、教員と支援員を常駐配置したモデル校を2校設置した。
- 各校において、岡山型長期欠席・不登校対策スタンダードに基づいて児童生徒の欠席状況などの変化や背景を校内で共有し、丁寧な支援を進めた。また、併せて、臨床心理士や市独自の教育支援アドバイザー等、専門家と連携した支援を行った。
- 不登校児童生徒の多様な学びの機会の一つである、不登校特例校の研究に向けて、令和5年度のスケジュールを策定した。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
長期欠席者数(人) (欠席日数30日以上) ※病気等含む	【小】 95 【中】 182 (R2)	【小】 89 【中】 180	【小】 133 【中】 242 (R3)
全国調査「学校に行くのは楽しい」 の項目で最上位回答をした児童生徒の割合	【小6】41.5% 【中3】40.1%	【小6】43% 【中3】41%	【小6】44.8% 【中3】43.5%

課題

- ◆不登校出現率が小中学校共に高い状態が続いている。
- ◆各校において日頃からアンケート調査等による実態把握、早期対応を行う校内体制の構築、支援対象者リスト等で、過去の欠席日数や年間欠席予想日数を確認し、欠席状況の見直しをもった対応等、校内で共通理解のもと丁寧な支援が必要である。
- ◆児童生徒が学校生活の基盤となる人間関係を形成し、学校における居場所づくりができるように、各校工夫した取組の成果が見られるが、今後、「新たな居場所（別室）」を市内に普及するなど、一人一人の学びを支える取組を推進する必要がある。

今後の方向性

- ◇中学校に「新たな居場所（別室）」を設置、専任教員を配置することで、個々の状況に応じた学習・生活支援を継続して実施する。また、別室教室への復帰や学校への足がかりを目指す等、居場所を求める生徒への支援を行い、不登校の未然防止に努める。
- ◇不登校特例校の設置を見据えた視察等による先進事例の収集、不登校生徒やその保護者、支援者等へのヒアリングを行い、本市が目指す不登校児童生徒の多様な学びの機会の方向性を定める。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑩子ども・若者の社会参加、自立支援	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○子ども・若者の社会参加、自立支援のため、津山市子ども・若者支援地域協議会を令和4年度には1回開催し、関係部署や関係機関等と連携を図り、切れ目のない支援を行った。</p> <p>○支援内容は、運動や散歩など一緒に体を動かすことをきっかけにした現況把握、高校進学のための学習や生活の支援、ひきこもり状態の人の家庭訪問と家族面談、中学校不登校生徒の家庭訪問などを実施した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学卒業後の支援同意書提出数 ※進路未決定者を含む</td> <td>R3年3月 卒業生3人</td> <td>5人以上</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	中学卒業後の支援同意書提出数 ※進路未決定者を含む	R3年3月 卒業生3人	5人以上	5人
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
中学卒業後の支援同意書提出数 ※進路未決定者を含む	R3年3月 卒業生3人	5人以上	5人								
課題	<p>◆青少年育成センターが支援対象者と卒業後もつながれるように、学校と青少年育成センターとの連携を図っていく必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇津山市子ども・若者支援地域協議会の調整機関及び相談窓口としての周知徹底を図り、関係部署や関係機関との連携を強化していく。また、津山市子ども・若者支援地域協議会を引き続き開催し、子ども・若者の社会参加、自立支援を継続して実施するとともに、ひきこもりへの地域理解を進めるため、市民や支援者へ向けた講演会を開催する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	①児童生徒の相談・支援体制の充実	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○多様化・深刻化する相談内容に対応するため、鶴山塾、青少年育成センター、津山市新たな居場所連絡協議会などの関係機関と連携し相談、助言、支援活動に取り組んだ。</p> <p>○鶴山塾では、令和4年度に5人に対して45回の訪問支援を実施した。</p> <p>○鶴山塾に通塾する児童生徒用のタブレットの活用として、鶴山塾に保管してあるタブレットで塾生と学校の先生とのコミュニケーションツールとしての活用を試したが、鶴山塾職員と学校との利用のみで塾生の利用はなかった。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒のアウトリーチ型支援（訪問支援）によるひきこもり改善率（通塾等への改善ケース/訪問支援ケース）</td> <td>20% (R2)</td> <td>30%</td> <td>29%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	不登校児童生徒のアウトリーチ型支援（訪問支援）によるひきこもり改善率（通塾等への改善ケース/訪問支援ケース）	20% (R2)	30%	29%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
不登校児童生徒のアウトリーチ型支援（訪問支援）によるひきこもり改善率（通塾等への改善ケース/訪問支援ケース）	20% (R2)	30%	29%								
課題	<p>◆児童生徒用のタブレットの学校と自宅以外への持ち出しについて、また、鶴山塾での利用者数、利用回数、必要性など学校教育課などと協議する必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇学校など関係機関との情報共有により、訪問支援の質を向上させるなど、対象者のニーズに即した効果的な支援につながるよう工夫しながら取り組んでいく。</p> <p>◇津山市新たな居場所連絡協議会などと連携し、児童生徒の相談・支援体制の充実の取組を継続して実施する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(1) 自立	～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～

ウ. 健やかな心と体の育成

取組	⑫青少年育成センターの機能の充実 (専門的知見の活用)	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○臨床心理士などによる職員等への研修会を令和4年度は1回実施。 ○ケース会議では、アドバイザーとし専門家から12回の助言を得た。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #00a0e3; color: white;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00; color: black;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議等における専門家招へい回数</td> <td>10回 (R2)</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	会議等における専門家招へい回数	10回 (R2)	12回	12回
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
会議等における専門家招へい回数	10回 (R2)	12回	12回								
課題	<p>◆複合的な課題や困難さを抱えた事案に効果的に取り組めるよう青少年育成センターのみならず、庁内関係課、関係機関も含めて専門的知見の有効活用を図る必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇今後も専門的知見を活用した職員研修を行い青少年育成センター機能を充実させていく。 ◇鶴山塾との連携や職員相互の人事交流を深め複合的な課題について効果的に対応できるよう青少年育成センターの機能を充実させていく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅰ		教育活動の推進・充実									
(Ⅰ) 自立		～自立して、自己の将来を切り拓き、 たくましく生きていけるひとを育てる～									
ウ. 健やかな心と体の育成											
取組	⑬ 青少年の体験活動の推進	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○津山市子ども会連合会の事務局として、同団体が主催する育成指導員研修会を支援した。また、同研修会は、市内各地域の子ども会の育成指導員を対象に、テント設営や野外調理の実習を行い、野外活動を安全に楽しむコツの習得を目的としている。例年実施している「つやま子ども野外塾」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためデイキャンプ1回のみ限定して開催した。</p>										
目標達成度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画中の指標</th> <th>計画策定時の現況値</th> <th>R4目標値</th> <th>R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津山市子ども会連合会指導者研修会の参加率(参加団体数/登録団体数)</td> <td>7.2% (R1) ※R2は中止</td> <td>8%以上</td> <td>8.5%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	津山市子ども会連合会指導者研修会の参加率(参加団体数/登録団体数)	7.2% (R1) ※R2は中止	8%以上	8.5%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
津山市子ども会連合会指導者研修会の参加率(参加団体数/登録団体数)	7.2% (R1) ※R2は中止	8%以上	8.5%								
課題	<p>◆津山市子ども会連合会において講師役を務めることのできる人材が限られており、後継者の育成が必要である。</p>										
今後の方向性	<p>◇今後も津山市子ども会連合会との連携を継続して事業を進め、青少年の自主性・創造性を育んでいく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ア. 自他を尊重する心の育成

取組	①グローバル化に対応する教育の推進	担当課	学校教育課												
具体施策と実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○英語指導スーパーバイザー（同志社大学准教授）を招聘し、小中学校教員の指導力向上を図った。 ○全小学校6年の津山洋学資料館等の見学をはじめ、各校2回のバス利用による校外学習を実施した。 ○『蘭学・洋学三津（さんしん）同盟』の締結を踏まえ、鶴山小学校6年生と津和野町立津和野小学校6年生、林田小学校6年生と中津市立北部小学校6年生が、オンラインによる授業の中で、互いの学校や地域の紹介、地元の偉人等についての発表を行い、交流を深めた。 														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「学校の授業以外で、英語を使う機会がある」の項目で肯定的な回答する割合</td> <td>【小6】40.9% 【中3】32.9%</td> <td>【小6】42% 【中3】34%</td> <td>未測定 (全国調査に質問項目無し)</td> </tr> <tr> <td>英語暗唱大会の発表者数</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「学校の授業以外で、英語を使う機会がある」の項目で肯定的な回答する割合	【小6】40.9% 【中3】32.9%	【小6】42% 【中3】34%	未測定 (全国調査に質問項目無し)	英語暗唱大会の発表者数	8	12	13
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
全国調査「学校の授業以外で、英語を使う機会がある」の項目で肯定的な回答する割合	【小6】40.9% 【中3】32.9%	【小6】42% 【中3】34%	未測定 (全国調査に質問項目無し)												
英語暗唱大会の発表者数	8	12	13												
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT、英語教科指導員の配置により、英語暗唱大会の発表者が増加するなどの成果もあり、児童生徒への積極的な働きかけの継続が必要である。 ○三津同盟については、引き続き、交流を行い、内容を充実させていく。 														
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTを1名増員して、生徒が他国の文化に触れる機会を増やす。 ○新たな英語教員への研修（プリティッシュカウンシル）を導入し、更なる教員の指導力向上に繋げる。 ○三津同盟の枠組みで、令和4年度には津和野町への視察を行い、児童の交流につなげた。今年度は中津市への視察・交流を実施する。 														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ア. 自他を尊重する心の育成

取組	②多様性を認め他者を思いやる心の育成 (人権教育の推進)	担当課	学校教育課
----	---------------------------------	-----	-------

具体施策と実施状況

- 児童生徒の発達段階に応じて、人権教育年間指導計画を作成し、人権課題を明確にした授業の実践を進めた。
- 津山市社会福祉協議会、津山市保幼小中人権教育研究協議会等との関係機関と連携し、車いす体験などの体験学習や、障害者、外国籍の方などとの交流を通じた学習など、人権教育の具体的な取組を行った。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
全国調査「人が困っているときは、進んで助けている」の項目で肯定的な回答(最上位の回答)をした児童生徒の割合	【小6】35.9% 【中3】39.2%	【小6】30% 【中3】43%	【小6】38.9% 【中3】40.7%

課題

- ◆「津山市いじめ問題対策基本方針」に沿った組織的な対応になっているか生徒指導担当者会などで関係機関とともに確認しているが、学校によって認知件数等に差が見られた。

今後の方向性

- ◇児童生徒の発達段階に応じて、人権教育年間指導計画を作成し、人権課題を明確にした授業の実践を継続して推進する。
- ◇津山市社会福祉協議会、津山市保幼小中人権教育研究協議会等との関係機関と連携し、車いす体験などの体験学習や、障害者、外国籍の方などとの交流を通じた学習など、人権教育の具体的な取組を継続して推進する。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ア. 自他を尊重する心の育成

取組	③いじめ・暴力行為への対策	担当課	学校教育課												
具体施策と実施状況	<p>○各校で定期的に調査を行っている「児童生徒アンケート」や各校からの月例報告（「いじめ・暴力行為・長期欠席不登校」）を活用し、いじめ解消への具体的な手立てや、暴力行為の発生に至った背景を丁寧に読み解き、落ち着いた学級集団づくりに取り組んだ。</p> <p>○学校が「学校いじめ問題対策基本方針」に基づいて、適切な対処が組織的にできるよう、校園長会議や各担当者会等で働きかけ、いじめの積極的な認知と未然防止の取組を進めた。</p> <p>○「SNSノートおおさか」の活用を学校へ促し、年間を通じてインターネットを介したいじめの防止や情報モラル教育の充実に取り組んだ。</p>														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題行動等調査における「暴力行為発生件数」(件)</td> <td>【小】 7件 【中】 16件 (R2)</td> <td>【小】 6件 【中】 14件</td> <td>【小】 6件 【中】 6件 (R3)</td> </tr> <tr> <td>全国調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】94.9% 【中3】97.0%</td> <td>【小6】96% 【中3】98%</td> <td>【小6】96.9% 【中3】96.8%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	問題行動等調査における「暴力行為発生件数」(件)	【小】 7件 【中】 16件 (R2)	【小】 6件 【中】 14件	【小】 6件 【中】 6件 (R3)	全国調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合	【小6】94.9% 【中3】97.0%	【小6】96% 【中3】98%	【小6】96.9% 【中3】96.8%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
問題行動等調査における「暴力行為発生件数」(件)	【小】 7件 【中】 16件 (R2)	【小】 6件 【中】 14件	【小】 6件 【中】 6件 (R3)												
全国調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合	【小6】94.9% 【中3】97.0%	【小6】96% 【中3】98%	【小6】96.9% 【中3】96.8%												
課題	<p>◆暴力行為につながる事案が発生した場合に等、重大事態や問題が長期化するケースが増えてきており、校内指導体制の見直しが常に必要である。</p> <p>◆日頃から落ち着いた学習環境を整備するとともに、全教職員で児童生徒の状況について共通理解を図りながら、児童生徒に寄り添った生徒指導に努めていることが暴力行為件数の減少に繋がったと要因と考えられる。</p>														
今後の方向性	<p>◇「津山市いじめ問題基本方針」に基づき、いじめの未然防止と適切な対応に努めるとともに、適切な対処が組織的にできるよう、継続して校園長会議や各担当者会等で周知徹底を図る。</p> <p>◇SNS等、インターネットを介したいじめの未然防止に向けて、年間を通じて計画的に「SNSノートおおさか」等の教材テキストを活用するなど、継続して情報モラル教育の充実に取り組む。</p> <p>◇学校警察連絡室との連携による学校への訪問や情報共有等を継続して行い、平素から児童生徒の規範意識の向上を目指す。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築

取組	①幼児教育における地域との交流活動の推進	担当課	こども保育課								
具体施策と実施状況	<p>○コロナ禍ではあったが、交流活動を15回実施し、様々な人と触れ合う機会を設けた。</p> <p>○地域の人々を招き、七夕やとんどなどの伝統行事や、野菜の苗植え等を実施した。地域の人々から、やさしく関わったり教えてもらったりすることで、地域の人々への感謝の気持ちが芽生えたと捉えている。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流活動の実施回数 (回/園)</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	交流活動の実施回数 (回/園)	3回	5回	15回
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
交流活動の実施回数 (回/園)	3回	5回	15回								
課題	<p>◆つやま東幼稚園は近隣保育園との交流活動が未実施</p> <p>◆コロナの感染不安に鑑み、年度当初の計画では無理のない範囲での交流計画を立案していたが、公民館や老人クラブなど、地域の人々の協力が得られたため、計画以上の交流活動の実施につながった。</p>										
今後の方向性	<p>◇つやま東幼稚園については、つやま西幼稚園の活動を参考に、実施可能な交流活動を検討する。</p> <p>◇今後も、様々な人々と触れ合い、地域に出かける機会を継続し、園児が地域に親しむ気持ちをもてるように取り組む。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築

取組	②コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進	担当課	学校教育課												
具体施策と実施状況	<p>○津山東中学校に続き、鶴山小学校と勝北中学校でコミュニティ・スクールを開始した。</p> <p>○中学生が講師となる公民館講座等各校の実態に応じた取組を行った。</p> <p>○今後コミュニティ・スクールを導入する小学校26校中学校6校は、年間を通じたコミュニティ・スクール導入ロードマップを作成し、各校の実態に応じて準備を行った。特に、令和5年度にコミュニティ・スクールを導入する全15小中学校は、設立準備委員会委員委嘱状の交付を行い、同委員会を設置して準備を進めた。また、コミュニティ・スクール導入準備の見通しが持てるよう、市教育委員会が合同説明会を実施した。</p> <p>○コミュニティ・スクール導入を周知するための説明を地域学校協働活動推進員研修会の開催をはじめ、15回実施した。</p>														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e0f0ff;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f0ff;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティ・スクールを設置している学校数(累計)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>アンケートで「学校運営協議会委員となることにより、学校への理解が深まった」と回答した学校運営協議会委員の割合</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">97%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	コミュニティ・スクールを設置している学校数(累計)	1	3	3	アンケートで「学校運営協議会委員となることにより、学校への理解が深まった」と回答した学校運営協議会委員の割合	—	100%	97%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
コミュニティ・スクールを設置している学校数(累計)	1	3	3												
アンケートで「学校運営協議会委員となることにより、学校への理解が深まった」と回答した学校運営協議会委員の割合	—	100%	97%												
課題	<p>◆コミュニティ・スクールについて、保護者や地域住民への周知が十分ではない。</p> <p>◆学校の取組が学校運営協議会委員によくわかるような協議の在り方、資料の提供等が必要である。</p>														
今後の方向性	<p>◇今年度は3校に加え、新たに15小中学校(中学校・津山東中学校区内小学校等)がコミュニティ・スクールを開始する。</p> <p>◇課題は、本市が掲げる学校と地域が共に責任を担うコミュニティ・スクール像への理解であり、学校が保護者や地域住民に対してPTAや地域の会合、ホームページ等で積極的な周知を行うようにするとともに、必要に応じて、教育委員会が周知のための説明を行う。</p> <p>◇令和6年度に導入する小学校17校は導入ロードマップを作成するとともに、設立準備委員会を設置して準備を進める。準備委員会では、学校運営協議会委員の人選、関係者の十分な理解と信頼関係づくり、育てたい子どもの姿の設定等の準備を行う。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築

取組	③地域学校協働活動による社会性の育成と家庭教育の啓発	担当課	学校教育課												
具体施策と実施状況	<p>○全小中学校でボランティア活動等の地域貢献活動に取り組んだ。</p> <p>○小中学生の地域行事への参加は、全国平均と比べて10%以上高くなっている。</p> <p>○放課後子ども教室の新規開設について公民館等に働きかけ、3教室を増加した。</p> <p>○地域学校協働活動推進員を全校で委嘱し、地域学校協働活動を進めた。</p> <p>○地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を実施し、日頃の実践の情報共有やコミュニティ・スクール導入についての協議等を行った。</p> <p>○家庭教育支援チームの研修会を5回に増やして実施するとともに、スマホ等のルールづくりに関する情報紙を発行した。</p>														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】69.8% 【中3】52.0%</td> <td>【小6】73% 【中3】54%</td> <td>【小6】65.4% 【中3】53.9%</td> </tr> <tr> <td>放課後子ども教室数</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】69.8% 【中3】52.0%	【小6】73% 【中3】54%	【小6】65.4% 【中3】53.9%	放課後子ども教室数	17	21	21
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
全国調査「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】69.8% 【中3】52.0%	【小6】73% 【中3】54%	【小6】65.4% 【中3】53.9%												
放課後子ども教室数	17	21	21												
課題	<p>◆子どもたちの郷土愛や自己肯定感の醸成が十分ではない。</p> <p>◆今住んでいる地域の行事に参加することについて、PTAとの連携・協働が図られていない。</p>														
今後の方向性	<p>◇全国調査「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合は全国平均を10%以上、上回っているが、目標値は達成できていない。地域学校協働活動やつやま郷土学等を通して、郷土愛の醸成や自己肯定感向上を図り、地域行事への参加を一層促していく。</p> <p>◇放課後子ども教室は21教室以上を維持するとともに、今後の放課後子ども教室の新規開設に向けて、公民館を中心に働きかける。地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を開催し、コミュニティ・スクール等の充実を図る。また、家庭教育支援チームを対象とする研修会を実施するとともに、情報紙を発行する。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築

取組	④青少年の健全育成を支える地域社会の構築	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○令和4年度も「津山っ子こころのふれあいトーク」、「街づくり人づくりクリーン作戦アピール集会」を実施し、青少年健全育成の共通理解を深めた。</p> <p>○鶴山塾においては、農園作業などの地域ボランティア等が実施する体験活動や学びを通じて、児童生徒が達成感や自己有用感を実感し、お互いを認め合い自己肯定感を高められるよう支援した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成に関する理解の向上（「津山っ子こころのふれあいトーク」参加者アンケートで「事業からの学びがあった」と回答した者の率）</td> <td>90%</td> <td>90%以上</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	青少年健全育成に関する理解の向上（「津山っ子こころのふれあいトーク」参加者アンケートで「事業からの学びがあった」と回答した者の率）	90%	90%以上	95%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
青少年健全育成に関する理解の向上（「津山っ子こころのふれあいトーク」参加者アンケートで「事業からの学びがあった」と回答した者の率）	90%	90%以上	95%								
課題	<p>◆ふれあいトークは、休憩なしで2時間半に渡り実施するため、参加する中学生の負担を考慮して開催方式について改善を図る必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇今後も健全育成団体などとの連携により、青少年の健全育成を支える地域社会の構築に努めていく。</p> <p>◇ふれあいトークについては、詳細な仕様を示し内容の改善に努めていく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ウ. 道徳性や規範意識の醸成

取組	①規範意識の醸成・向上	担当課	こども保育課 学校教育課 次世代育成課
----	-------------	-----	---------------------------

具体施策と実施状況

(こども保育課)
 ◇幼児期に道徳性や規範意識を育むため、学級や園全体の生活や遊びを通して、幼児が実体験している場面を逃さずに適切な援助を行うよう努めた。

(学校教育課)
 ◇自分たちで決めたまきり等を守ろうとする姿勢を育むために、生徒会活動等を充実させ、児童生徒が主体性を発揮した取組を行い、勝北中と久米中では制服の見直しが行われた。
 ◇児童会・生徒会など自発的活動を充実させ、魅力ある学校づくりの推進を図った。
 ◇問題行動や非行等への早期解決のため、学校における組織的対応と関係機関との連携を図った。

(次世代育成課)
 ◇あいさつ運動や学校訪問を実施し、規範意識の醸成、向上を図った。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
保護者アンケート「約束やきまりが分かり、守ろうとしていますか」の項目で肯定的な回答をした保護者の割合【幼稚園】	97%	97%	95%
県調査「学校のきまり(規則)を守っていた」の項目で肯定的な回答(最上位の回答)をした児童生徒の割合	【小5】35.9% 【中1】51.0% 【中2】59.6%	【小5】39% 【中1】53% 【中2】62%	【小5】45.0% 【中1】60.4% 【中2】54.4%
全国調査「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】44.7% 【中3】42.7%	【小6】48% 【中3】45%	【小6】38.7% 【中3】49.9%

課題

(こども保育課)
 ◆令和4年度は目標値に2%満たない状況である。幼児期は低年齢であるため、特に各年齢に応じて分かりやすく伝える工夫が必要である。

(学校教育課)
 ◆引き続き、児童生徒の主体的な活動を通して、校則等の見直し等を行うとともに、保護者や地域の方々が見直しの状況や校則の内容をいつでも確認できるようホームページへの掲載など、より工夫した情報公開のあり方が必要である。

(次世代育成課)
 ◆元気よく進んであいさつする児童生徒の割合が少ない。

今後の方向性

(こども保育課)
 ◇幼児期は体験を通して学ぶため、機会を捉えて幼児と共に考える姿勢で関わる必要がある。職員の対応によって異なるよう、園内でしっかりと共有していく。

(学校教育課)
 ◇校則や制服を自分たちのものとして捉え、主体的な態度で向き合い、自分たちで決めたまきり等を守ろうとする姿勢を育むために、校則等の見直しを推進する。
 ◇児童会・生徒会など自発的活動を充実させ、魅力ある学校づくりの推進を図る。
 ◇問題行動や非行等の早期解決のため、学校における組織的対応と関係機関との連携を図る。
 ◇学校が警察と共同で実施する非行防止教室等を通じて、未然防止及び規範意識の醸成・向上を図る。

(次世代育成課)
 ◇児童会や生徒会におけるあいさつ運動の取組を支援する。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ウ. 道徳性や規範意識の醸成

取組	②道徳心の育成	担当課	学校教育課
----	---------	-----	-------

具体施策と実施状況

○各学校においては「考え議論する道徳」の主旨を踏まえ、教科化された道徳の授業を推進した。また、小中学校1校ずつを道徳教育研究校に指定し、道徳推進教師を対象とした研修会を実施することを通して、道徳科の授業の充実を図った。

目標達成度

計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
保護者アンケート「相手を思いやる気持ちが芽生えてきましたか」の項目で肯定的な回答をした保護者の割合【幼稚園】	97%	97%	95%
全国調査「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」の項目で最上位回答をした児童生徒の割合	【小6】43.2% 【中3】53.3%	【小6】44% 【中3】54%	【小6】38.7% 【中3】49.9%

課題

◆授業だけの理解ではなく、「お礼を言う」「うそはつかない」など、子どもたちに人としての生き方や在り方を葛藤しながらも考えさせる態度や姿勢について、道徳教育を通じて育んでいく必要がある。

今後の方向性

◇道徳教育や情報モラル教育の充実を通じて、児童生徒が人としての在り方や生き方について学び、多様な価値観を認識しながら自ら考え、判断し、より良く生きるための資質や能力の育成を図る。
◇学級の実態や学校行事等との関連を考慮しながら、年間指導計画を工夫することや内容との関連で郷土教材を併用する等、より成果が上がる道徳の授業を実現していく。

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ウ. 道徳性や規範意識の醸成

取組	③スマートフォン、インターネット対策の推進	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○SNS等、インターネットを介したいじめの未然防止に向けて、年間を通じて計画的に「SNSノートおおさか」等の教材テキストを活用するなど、情報モラル教育の充実に取り組んだ。</p> <p>○学校での情報モラル教育が、生徒会の主体的な取組となるよう、県教委主催の「スマホサミット」への積極的な参加を推進した。</p> <p>○児童生徒や保護者に、携帯電話やスマートフォン、SNS等の危険性と適切な使用（ルールづくり）について指導や啓発（ノーマディア週間の取組等）を全校で継続して行った。また、地区懇談会等で、家庭や地域へ向け、利用実態の周知及び家庭ルール作りの啓発を行った。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スマホ等利用調査「家庭のルールがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小5】61.9% 【中2】57.5% (R2)</td> <td>【小5】63% 【中2】58%</td> <td>【小5】68.0% 【中2】62.8%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	スマホ等利用調査「家庭のルールがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小5】61.9% 【中2】57.5% (R2)	【小5】63% 【中2】58%	【小5】68.0% 【中2】62.8%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
スマホ等利用調査「家庭のルールがある」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小5】61.9% 【中2】57.5% (R2)	【小5】63% 【中2】58%	【小5】68.0% 【中2】62.8%								
課題	<p>◆スマホの所持率は増加し続けており、スマホの利用に伴い、睡眠時間や学習時間が減ったと多くの児童生徒が自覚している。</p> <p>◆スマホ等の利用について「家庭のルールがある」と回答した割合は、小学校68%、中学校62.8%と目標値を上回っているが、「ルールを守れている」割合は、小中学校ともに前年度より減少し50%を下回っている。</p>										
今後の方向性	<p>◇SNS等、インターネットを介したいじめの未然防止に向けて、年間を通じて計画的に「SNSノートおおさか」等の教材テキストを活用するなど、情報モラル教育の充実に取り組む。</p> <p>◇児童生徒や保護者を交えた意見交流の機会を設定して、家庭と連携したメディアコントロールの取組を進める。また、中学校ブロックごとに情報共有を行い、取組を広げる。</p> <p>◇情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する教育活動を行う。その際、児童生徒が課題意識をもてるような児童生徒主体の取組を進める。</p> <p>◇子育てワークショップやこども家庭講座、チャレンジ・ハッピーデー等により、生活習慣の見直しや家族と触れ合う時間の大切さ等について保護者へ直接働きかけを行う。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(2) つながり	～ 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひとを育てる～

ウ. 道徳性や規範意識の醸成

取組	④関係機関等との連携による学校教育活動の支援	担当課	次世代育成課								
具体施策と実施状況	<p>○令和4年度は、学校や関係機関と連携しながらあいさつ運動を51回、学校訪問を14回実施し、児童生徒の規範意識の向上、非行防止に取り組み、落ち着いて学ぶことができる教育環境の確保や生徒指導等の学校教育活動を支援した。</p> <p>○あいさつ運動では、見守り隊や地域の方が通学班の集合場所に出て声かけをしたり、横断歩道に立ち、子どもたちと校門まで歩いてくるなど地域の方の関わりも増えてきている。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校訪問回数(あいさつ運動は含まない)</td> <td>5回 (R2)</td> <td>10回</td> <td>14回</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	学校訪問回数(あいさつ運動は含まない)	5回 (R2)	10回	14回
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
学校訪問回数(あいさつ運動は含まない)	5回 (R2)	10回	14回								
課題	<p>◆あいさつはまずまずできているが、元気よく進んであいさつする子は少ない。児童会や生徒会でのあいさつ運動への取組についても進めていく必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◆引き続き支援にあたっては、非行等の未然防止の観点から取組を進めるとともに、新しい環境で児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、小学校から中学校への接続時にも学校訪問による見守りを行うなど、状況に応じた切れ目のない支援を行っていく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(3) 郷土愛	～ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひとを育てる～

ア. 津山の歴史・伝統・文化などを大切に作る心の育成

取組	②郷土愛の醸成（「つやま郷土学」の推進）	担当課	学校教育課												
具体 施策と 実施 状況	<p>○全小中学校において、学年ごとにねらいと具体的活動を記述した計画表を作成し、各校の実態に応じて、郷土料理や郷土紹介英作文など特徴的な取組を進めた。</p> <p>○小学校では全6年生の洋学資料館等の訪問を含めて、各校2回のバス利用による校外学習を行った。</p> <p>○新規として、地元出身の芸術家（彫無季氏）に関する授業、三津同盟締結による学校間交流（鶴山小・林田小）、墨絵の授業、学校と津山洋学資料館や和紙工場をタブレットでつなぐオンライン授業を行った。また、小学生親子企業見学バスツアー、郷土料理等6講座を行った。</p> <p>○県調査「自分が住んでいる地域が好きである」最上位の回答をした児童（小5）生徒（中1・中2）の割合は目標値とそれぞれ同程度か上回っている。</p>														
目標 達成 度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #00a0e3; color: white;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">県調査「自分が住んでいる地域が好きである」の項目で最上位の回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小5】65.9% 【中1】52.5% 【中2】46.7%</td> <td>【小5】69% 【中1】55% 【中2】49%</td> <td>【小5】68.9% 【中1】61.2% 【中2】47.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">全国調査「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】44.7% 【中3】42.7%</td> <td>【小6】48% 【中3】45%</td> <td>【小6】45.6% 【中3】42.4%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	県調査「自分が住んでいる地域が好きである」の項目で最上位の回答をした児童生徒の割合	【小5】65.9% 【中1】52.5% 【中2】46.7%	【小5】69% 【中1】55% 【中2】49%	【小5】68.9% 【中1】61.2% 【中2】47.8%	全国調査「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】44.7% 【中3】42.7%	【小6】48% 【中3】45%	【小6】45.6% 【中3】42.4%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
県調査「自分が住んでいる地域が好きである」の項目で最上位の回答をした児童生徒の割合	【小5】65.9% 【中1】52.5% 【中2】46.7%	【小5】69% 【中1】55% 【中2】49%	【小5】68.9% 【中1】61.2% 【中2】47.8%												
全国調査「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】44.7% 【中3】42.7%	【小6】48% 【中3】45%	【小6】45.6% 【中3】42.4%												
課題	<p>◆つやま郷土学の際に、地域について学ぶことと、地域をよりよくするために、自分たちで何ができるかを考えることが必ずしも結びついていないことが課題である。</p>														
今後の 方向性	<p>◇つやま郷土学における地域についての学習とともに、自分が地域や社会をよくするための活動をセットで行うよう周知の徹底を図る。</p> <p>◇つやま郷土学を元気スマイルプランとして、全小中学校の全学年の教育課程に位置付け、組織的に推進する。</p> <p>◇津山ユネスコ協会と共催する「わたしの町のたからもの」絵画展や小中学生版つやま検定等様々な取組によって郷土愛の醸成を図っていく。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(3) 郷土愛	～ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひとを育てる～

ア. 津山の歴史・伝統・文化などを大切にす心の育成

取組	③子ども観光ガイド育成塾の充実	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○つやま子ども観光ガイド育成塾(実施回数:4回 参加人数:10人) つやま子ども観光ガイド育成塾では、つやま自然のふしぎ館・津山郷土博物館で、それぞれの児童生徒がジェスチャーを交えた詳細な解説やクイズを盛り込むなど工夫あるガイドをすることができた。参加者アンケート結果は、4回トータルで「楽しかったか」についての肯定的評価が約93%、「津山がより好きになったか」の肯定的回答が約96%であった。</p> <p>○小中学生を対象とした小中学生版「つやま検定」の実施向け、検討を進めている。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者アンケート「津山のことがもっと好きになりましたか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	参加者アンケート「津山のことがもっと好きになりましたか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合	100%	100%	96%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
参加者アンケート「津山のことがもっと好きになりましたか」の項目で肯定的回答をした児童生徒の割合	100%	100%	96%								
課題	<p>◆参加者が津山のことがより好きになれるように、津山の特長がしっかり感じられるようなテーマと活動展開が必要である。</p>										
今後の方向性	<p>◇参加者が郷土の良さを感じられるように、より津山らしいテーマにしたり、親子で作る体験活動等を取り入れることによって、実感のある取組としたい。</p> <p>◇小中学生を対象とした小中学生版「つやま検定」を検定問題作成委員会で問題を作成し、実施する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(3) 郷土愛	～ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひとを育てる～

イ. ふるさと津山に誇りと愛着をもち、地域や社会に貢献できる人の育成

取組	①つやま夢サポート(夢サポ)	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○中学生対象企業見学ツアーでは、パナソニック・加茂繊維・モランボンプロダクツ・オーエヌ工業の4社を見学し、様々な体験活動を行った。参加者数はのべ25人。満足度アンケート肯定的回答が100%、「夢や目標の参考になった」が約87%、「津山がより好きになった」が約87%。</p> <p>○中学生こみゅでは、NPO法人だっぴのファシリテーションにより、市内地域住民17人が参加し、勝北中学校2年生が自分の考え方の視野を広げるキャリア教育プログラムを実施した。アンケート結果では「自分にはいいところがある」と感じる生徒の割合や、結果に関係なく物事に取り組むことを大切と思う生徒の割合、自分の将来に希望がもてる生徒の割合等が増加した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff9c4;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合</td> <td>【小6】81.2% 【中3】74.4%</td> <td>【小6】84% 【中3】76%</td> <td>【小6】80.4% 【中3】74.1%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】81.2% 【中3】74.4%	【小6】84% 【中3】76%	【小6】80.4% 【中3】74.1%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合	【小6】81.2% 【中3】74.4%	【小6】84% 【中3】76%	【小6】80.4% 【中3】74.1%								
課題	<p>◆中学生企業見学ツアーでは、中学生の夢や目標を広げるため、多くの生徒が体験できるように参加定員の拡大が必要である。</p>										
今後の方向性	<p>◇中学生が興味関心のある、ロボット・VRなどの最新のICT関連や、香りなどの感覚器官に焦点を当てる体験活動を準備を検討する。また、早めの広報・周知を行う。</p> <p>◇中学生こみゅは、全国調査「夢や目標を持っている」項目での肯定的回答の児童生徒の割合が目標を達成しておらず、現在1校で実施しているところを、複数校で実施する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性 I	教育活動の推進・充実
(3) 郷土愛	～ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひとを育てる～

I. ふるさと津山に誇りと愛着をもち、地域や社会に貢献できる人の育成

取組	②つやま元気大賞表彰の推進	担当課	学校教育課								
具体 施策 と 実 施 状 況	<p>○今年度は津山市PTA連合会が新たに主催者に加わった。応募数は34（個人5、団体29）であり、年々応募数が増加している（R2：15、R3：20）。選考委員会による選考の結果、多様な取組の中から、大賞は個人の部：上田繁男氏（和紙）、団体の部：宮部川ホテルンジャー（ホテルの環境）、成名小学校PTA（食育）、城西まちづくり協議会（公園をきれいにする取組）。おかやま教育週間に合わせて表彰式を行った。</p> <p>○家族等で郷土愛の醸成につなげられるよう、津山洋学資料館と津山郷土博物館の協力により、推薦された個人・団体にそれぞれのペアチケットを配付した。</p>										
目標 達成 度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #0070C0; color: white;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #ADD8E6;">R4目標値</th> <th style="background-color: #FFFF00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つやま元気大賞応募数</td> <td>20 (R3)</td> <td>24</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	つやま元気大賞応募数	20 (R3)	24	34
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
つやま元気大賞応募数	20 (R3)	24	34								
課題	<p>◆つやま元気大賞の応募については、年々順調に数を伸ばしているが、自己肯定感と郷土愛の一層の醸成を図るため、取組を継続していく必要がある。</p>										
今後 の 方 向 性	<p>◇つやま元気大賞の表彰を通じて、自己肯定感を高めるとともに、ふるさと津山に誇りと愛着をもつ子どもをより良く育てていく。</p> <p>◇令和5年度も引き続き、津山市PTA連合会が主催者に加わっており、PTA活動の充実取組があると思われるPTA活動の応募を一層推進するとともに、津山洋学資料館と津山郷土博物館の協力による、推薦された個人・団体へのペアチケットを配付を継続する。</p> <p>◇共催、協賛団体を募り、地域をあげた取組に拡大し、社会全体で「津山っ子」を育む機運を高める。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ア. 安全・安心な学校づくり

取組	①幼稚園・小中学校施設整備	担当課	こども保育課 教育総務課
----	---------------	-----	-----------------

具体 施策と 実施 状況	<p>(こども保育課) ○施設の不備等について早期発見に努め、必要な修繕等を実施した。 (教育総務課) ○一宮小学校と鶴山小学校での校舎児童用トイレを改修し、快適な学校生活を送れるようにした。</p>		
-----------------------	--	--	--

目標 達成 度	計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
	学校施設(校舎・屋内運動場・プールなど)及び設備(トイレ・消防・放送・水道・排水設備など)の改修件数	3件	5件	5件

課題	<p>(こども保育課) ◆幼稚園の施設の不備等については、管理者による日々の管理及び点検を継続していく必要がある。 (教育総務課) ◆小中学校については、児童・生徒の安全安心の確保、日々の点検による早期発見、早期修繕、教育環境の改善・充実を行い、誰でも使いやすい快適な施設となるよう継続して管理・整備する必要がある。また、老朽化が進む学校施設は依然として多く存在し、改修が必要と認識している。</p>		
----	--	--	--

今後 の 方向 性	<p>(こども保育課) ◇幼稚園については、長寿命化個別計画により計画的に実施する。 (教育総務課) ◇小中学校については、津山市学校施設更新整備方針や「津山市小中学校の将来構想検討委員会」からの提言、学校、保護者からの要望を踏まえ、引き続き学校施設や設備の改修を計画的に実施する。</p>		
--------------------	---	--	--

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ア. 安全・安心な学校づくり

取組	②安全安心対策	担当課	こども保育課 教育総務課
----	---------	-----	-----------------

具体 施策と 実施 状況	<p>(こども保育課)</p> <p>○幼稚園では、管理者による日々の管理及び点検を実施した。さらに専門業者による遊具点検を年1回実施した。(毎年1園ずつ実施)</p> <p>(教育総務課)</p> <p>○施設点検の結果に基づき、佐良山小学校校舎屋上の防水・加茂中学校校舎の外壁改修、高田小学校プールサイドの改修を実施した。</p>
-----------------------	---

目標 達成度	計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
	建築基準法第12条に定められた施設点検実施学校数	12校	11校	11校

課題	<p>(こども保育課)</p> <p>◆危険箇所等を早期発見するため、管理者による日々の管理及び点検を継続して実施していく必要がある。</p> <p>(教育総務課)</p> <p>◆建築基準法第12条等により、法定点検を実施し、危険箇所等の早期発見、計画的な改修に努めているが、それ以外で確認が困難である地中配管、又は樹木管理については、修理が必要になってからの対応になっている。今後は学校教育に支障がないように計画的な修繕、改修、樹木の手入れ等を行っていくことが課題である。</p>
----	--

今後の 方向性	<p>(こども保育課)</p> <p>◇幼稚園の施設や遊具の修繕等については、管理者と連携し、必要に応じて実施する。</p> <p>(教育総務課)</p> <p>◇引き続き、小中学校全校について建築基準法第12条に定められた施設点検を計画的に実施することにより、学校施設における危険箇所等の早期発見に努めるとともに、安全安心な学校生活に必要な修繕等を行う。</p>
------------	--

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ア. 安全・安心な学校づくり

取組	③新型コロナウイルス感染症対策や各種環境衛生対策	担当課	こども保育課 保健給食課
----	--------------------------	-----	-----------------

具体施策と実施状況	<p>(こども保育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園では、飲料水の水質検査を年2回、プールの水質検査を年1回実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、各園において保健衛生用品を購入し、園児等が安全・安心に過ごすための環境を確保した。 <p>(保健給食課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校保健安全法等に基づき、学校医・学校薬剤師等の助言協力のもと環境衛生管理(飲料水・プール水水質検査、ダニアレルゲン検査)を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、感染症対策に必要な物品を学校へ継続して配付した。 ○感染症対策を目的に計画的な健診器具(鼻鏡・耳鏡)の配備を行った。 ○産業医配置校(3中学校)では、職場の安全衛生管理について専門的知見からの助言を得ることができた。(職場巡視、衛生委員会出席等)
-----------	---

目標達成度		計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
		専門家からの指導・助言回数の増加(平均値) (幼・小・中)	13.6回	15回	20.1回

課題	<p>(こども保育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆5類移行後の新型コロナウイルス感染症対策は、今後の感染状況等に注視しながら、園に対する感染症対策を継続して行う必要がある。 <p>(保健給食課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国の新型コロナウイルス感染症対策が変化中、必要に応じて学校医・学校薬剤師・産業医の助言協力を求めながら、児童生徒の安全を確保することができたが、5類移行後の新型コロナウイルス感染症対策は、今後の感染状況等に注視しながら、学校に対する感染症対策を継続して行う必要がある。
----	---

今後の方向性	<p>(こども保育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇園の環境衛生の向上を通じて、園児の安全を確保するため、今後も各種感染症対策や各衛生検査を継続して実施する。 <p>(保健給食課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇飲料水やプール水の水質検査、ダニアレルゲン検査を継続実施する。 ◇児童生徒の安全を確保するため、学校医・学校薬剤師・産業医から専門的助言を得ながら、感染症対策、環境衛生対策を継続して実施する。
--------	--

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ア. 安全・安心な学校づくり

取組	④安全・安心に配慮した給食提供と食育センター施設・設備の整備	担当課	保健給食課
----	--------------------------------	-----	-------

具体施策と実施状況	<p>○戸島学校食育センターにおいて、優先順位をつけ、施設や設備機器の点検や整備・改修を実施した。また、戸島学校食育センターは調理等委託業者の更新年であったが、更新後も適正かつ円滑な運営を実施した。</p> <p>○戸島学校食育センターの長寿命化を図るため、設備等の改修を行った。これにより、給食への異物混入の防止を図ることができた。</p>
-----------	---

目標達成度	計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値
	戸島学校食育センターの施設設備更新計画の進捗割合	—	33.2%	19.2%

課題	<p>◆施設設備を改修する時期は夏休み等長期休暇に限られていることから、計画的な実施や、突発的かつ大きな修繕につながらないための点検を定期的・継続的に実施する必要がある。</p>
----	---

今後の方向性	<p>◇引き続き、戸島学校食育センターの施設設備の整備改修を計画的に進める。</p> <p>◇草加部学校食育センターも稼働から10年を迎えることから、施設設備の更新状況や劣化状態等を把握していく。</p>
--------	--

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

イ. 良好な教育環境の維持・向上

取組	①幼稚園ICT環境整備	担当課	こども保育課												
具体施策と実施状況	<p>○Wi-Fi環境の整備、保育支援システムの導入を完了し、令和5年度当初からの活用が可能となった。</p> <p>○機器を活用した研修や情報発信については、令和5年度以降に実施予定。</p>														
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #92d050;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff2cc;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICT環境整備</td> <td>—</td> <td>Wi-Fi環境整備</td> <td>Wi-Fi環境整備完了</td> </tr> <tr> <td>ICTを活用した情報発信回数 (回/園)</td> <td>—</td> <td>— (R5年度から実施)</td> <td>— (R5年度から実施)</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	ICT環境整備	—	Wi-Fi環境整備	Wi-Fi環境整備完了	ICTを活用した情報発信回数 (回/園)	—	— (R5年度から実施)	— (R5年度から実施)
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値												
ICT環境整備	—	Wi-Fi環境整備	Wi-Fi環境整備完了												
ICTを活用した情報発信回数 (回/園)	—	— (R5年度から実施)	— (R5年度から実施)												
課題	<p>◆各園の職員が、ICT機器の操作方法や保育支援システムの利用について、早急な理解を推進する必要がある。</p>														
今後の方向性	<p>◇ICT機器を活用した研修や情報発信について、先進園等の事例を参考に有効な活用方法を探り、実践につなげる。</p>														

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

Ⅰ. 良好な教育環境の維持・向上

取組	②学校ICT環境整備	担当課	教育総務課								
具体施策と実施状況	<p>○児童生徒数が350人以上の学校（7校）においてローカルブレイクアウト方式による回線増強を実施した。</p> <p>○ICT支援員による、サポートを継続して実施した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #92d050;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff2cc;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の質問項目で「ほぼ毎日」と回答した割合（全国学習状況調査）</td> <td>【小6】17.9% 【中3】10.1%</td> <td>【小6】35% 【中3】30%</td> <td>【小6】26.1% 【中3】11.4%</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	「授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の質問項目で「ほぼ毎日」と回答した割合（全国学習状況調査）	【小6】17.9% 【中3】10.1%	【小6】35% 【中3】30%	【小6】26.1% 【中3】11.4%
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
「授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の質問項目で「ほぼ毎日」と回答した割合（全国学習状況調査）	【小6】17.9% 【中3】10.1%	【小6】35% 【中3】30%	【小6】26.1% 【中3】11.4%								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ローカルブレイクアウトに伴う、機器導入により通信環境は向上したが、特定の学校においては、通信環境が不安定。 ◆通信環境の検証に対する学校等の協力体制の構築が必要。また、情報セキュリティについての認識が統一されていない。 ◆ICT環境の整備を進めているが、授業における学校での使用頻度が少ない。（特に中学校） 										
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◇各校通信環境を整理し、継続してローカルブレイクアウト等による通信向上を目指す。 ◇ハード（パソコン、ネットワーク等）、ソフト（人的セキュリティ等）ともにセキュリティ対策の強化をすすめる。 ◇ICT支援員のサポートを継続するとともに、学校でのICTを活用した授業実施をより一層、進めていく。 										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

イ. 良好な教育環境の維持・向上

取組	③小中学校の適正規模・適正配置	担当課	学校教育課 教育総務課								
具体施策と実施状況	<p>(学校教育課・教育総務課)</p> <p>○「津山市小中学校の将来構想検討委員会」では、津山市小・中学校の状況、課題を踏まえ、今後の津山市の学校教育のあり方、魅力ある学校づくりの方策、学校教育の体制整備の方策等について7回の議論を経て、令和4年9月に「津山市小中学校の将来構想に関する提言書」を教育委員会へ提出した。</p> <p>○教育委員会は、津山市教育大綱、津山市第5次総合計画、津山市教育振興基本計画(第3期)、津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針(平成22年6月策定)及び提言書を踏まえ、市立小中学校の過小規模化に伴う諸課題等に対し、本市の目指す学校教育を実現する体制整備の方策について方向性を示す「今後の津山市立小中学校の体制整備に関する基本方針」を令和5年3月に策定した。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #008000; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #92d050;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #92d050;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針の策定</td> <td>基本方針検討中</td> <td>基本方針策定</td> <td>基本方針策定</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針の策定	基本方針検討中	基本方針策定	基本方針策定
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
津山市立学校の適正な規模や配置等に関する基本方針の策定	基本方針検討中	基本方針策定	基本方針策定								
課題	<p>(学校教育課・教育総務課)</p> <p>◆体制整備に当たっては、地域の関係者等の理解と協力を得ることが必要であり、児童生徒、保護者、地域住民等に、学校の抱える課題等の現在の状況、将来の見通し、体制整備の方策のメリット・デメリット等を丁寧に説明し、意見を聴取するなど、十分な理解を得ながら検討を進めていく必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>(学校教育課・教育総務課)</p> <p>◇他自治体の事例を調査し、児童生徒、保護者、地域住民への円滑かつ理解を得られる説明会の開催方式を検討する。これを踏まえ、令和5年度中に、中学校単位で基本方針についての説明会を実施する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

イ. 良好な教育環境の維持・向上

	④教職員の働き方改革	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○学校運営改善アドバイザーによる学校訪問を計画的に行い(年間37回)、業務改善に係る学校課題や改善に資する好事例の情報を収集し、校園長会議等でのフィードバックを行った。</p> <p>○教師業務アシスト員、部活動支援員の全校配置を行い、校務支援システム等の効果的な活用事例等を校園長会議や管理職・事務職員研修等で共有し、時間外在校等時間縮減に努めた。</p> <p>○行政内部での「今後の部活動の在り方検討会議」(年間5回開催)で方向性を確認し、市スポーツ協会、学校、保護者等への情報提供を継続した。また、11月には小中学校教職員、児童生徒、その保護者に対して意向調査を実施し、令和5年度の推進計画策定に向けた基礎資料の収集を行った。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #92d050;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #92d050;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #92d050;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員の1ヶ月あたり時間外在校等時間</td> <td>【小】 39.09h 【中】 49.14h (R2)</td> <td>【小】 37h以内 【中】 47h以内</td> <td>【小】 39.5h 【中】 51.4h</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	教職員の1ヶ月あたり時間外在校等時間	【小】 39.09h 【中】 49.14h (R2)	【小】 37h以内 【中】 47h以内	【小】 39.5h 【中】 51.4h
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
教職員の1ヶ月あたり時間外在校等時間	【小】 39.09h 【中】 49.14h (R2)	【小】 37h以内 【中】 47h以内	【小】 39.5h 【中】 51.4h								
課題	<p>◆小中学校ともに、1学期の時間外在校等時間が多い傾向にある。</p> <p>◆特定の職員に業務が集中したり、計画的に仕事を進められない等の理由で、時間外がかさむ教職員が見られる。</p>										
今後の方向性	<p>◇学校の機能強化を図る上で、事務職員の学校運営参画は必須となる。学校運営改善アドバイザーの計画的な学校訪問や事務職員の研修企画への参画で、教職員の働き方改革の好事例を横展開し具体化する。</p> <p>◇引き続き教師業務アシスト員、部活動支援員を全校配置する。</p> <p>◇令和5年度中に出退勤管理システムを全校導入するとともに、校務DX化に向け、中学校2校で採点システムを試行し成果検証を行う。</p> <p>◇中学校の部活動の在り方を見直すことが必要であり、校長会、保護者代表等と検討を進める。また、令和5年度中に推進協議会を設置し、本市の具体的な方針を策定する。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

イ. 良好な教育環境の維持・向上

取組	⑤学校給食費の公会計化及び学校事務の効率化	担当課	保健給食課								
具体施策と実施状況	<p>○仕様の素案を作成し、システム業者3社に対し見積書の提出を求めるとともに、システムのデモンストレーションを実施した。また、関係課等に対して、給食費の公会計化の趣旨や導入スケジュールについて説明を行うとともに、3社が実施したシステムのデモンストレーションへの参加を依頼し、導入にあたっての問題点を把握した。</p> <p>○給食費の公会計化に合わせて、学校徴収金の徴収に取り組んでいる自治体から、取組内容や問題点について情報収集を行った。これにより、システム導入にあたってセキュリティー面での課題があることから、システム導入の方向性について再検討する必要があることがわかった。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #92d050;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R4目標値</th> <th style="background-color: #fff2cc;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公会計化及び学校事務効率化事業の進捗割合</td> <td>—</td> <td>システム導入方法の検討</td> <td>検討中</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	公会計化及び学校事務効率化事業の進捗割合	—	システム導入方法の検討	検討中
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
公会計化及び学校事務効率化事業の進捗割合	—	システム導入方法の検討	検討中								
課題	<p>◆システム導入にあたって、セキュリティー面での課題があることが判明したことから、システムの導入方法について見直す必要がある。</p>										
今後の方向性	<p>◇令和5年度末に、国の少子化対策の一つとして「学校給食費の無償化」が挙げられたことを踏まえ、国の動向を見極めたうえで、関係部署等との協議、公会計化の時期と方法を見直していく。</p>										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ウ. 総合的な連携体制の構築

取組	①教育委員会活動の活性化	担当課	教育総務課								
具体施策と実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○「津山市教育委員会」として教育行政全般についてまとめたホームページを作成・公表し積極的な情報発信を実施した。 ○教育委員の知見の向上と教育委員会における協議に資するため、教育委員による学校訪問（19校3施設）を実施するとともに、令和4年度から教育に関する行事・事例等を、定期的に委員へ通知することとし、情報を共有した。 ○本市の教育施策の方向性を市長部局と共有・協議・調整するため、「総合教育会議」（3回）に参加した。 ○PTAとの懇談会等を実施し、教育についての意見交換を実施した。 										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #008000; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #c6e0b4;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #c6e0b4;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他団体との交流回数 (意見交換、懇談会等)</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	他団体との交流回数 (意見交換、懇談会等)	9	10	8
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
他団体との交流回数 (意見交換、懇談会等)	9	10	8								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ホームページへの情報アップに際して、よりわかりやすく、検索しやすい方策の検討が必要である。 ◆教育施策のアピールについて、SNS等の活用が検討できていない。 ◆「教育委員会通信」の内容が恒常化しつつある。 ◆感染症まん延の影響により、懇談会等の参加機会確保が困難であった。 										
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◇分かりやすいホームページでの情報発信に努めるとともに、SNSなどを活用した教育施策のアピール方策を検討する。 ◇引き続き、教育委員による学校訪問や懇談会等を継続・拡充していく。 										

取組点検・評価シート

基本的方向性Ⅱ	教育環境の改善・充実
教育活動を支える環境づくり	～ 自立し 心豊かにたくましく 将来へ「つなぐ力」を育むための基盤整備～

ウ. 総合的な連携体制の構築

取組	③親(保護者)学講座の推進	担当課	学校教育課								
具体施策と実施状況	<p>○小中学校等の保護者を対象に、子育てについて学び、親同士のつながりを深める参加体験型学習を行った。</p> <p>〔子育てワークショップ研修・新しい親(保護者)学講座(LINK講座)実施回数:67回〕 〔参加人数:2,315人〕</p> <p>主な内容は「子どもの家庭学習」「夢や目標を持てる子育て」「子どものサインに気づく」「子育てのイライラとうまく付き合う」「親子で学ぶスマホ等のルールづくり」「親子で運動の楽しさを体験する講座」等。満足度アンケートでは、99%が肯定的回答。</p> <p>○これとは別に入学説明会においてスマホ等の使い方や家庭学習等についてのワークショップを全校で実施した。</p> <p>○津山市家庭教育支援チーム「はぴまる」と連携して、順調に実施回数を確保ができた。</p>										
目標達成度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #008000; color: white;">計画中の指標</th> <th style="background-color: #92d050;">計画策定時の現況値</th> <th style="background-color: #92d050;">R4目標値</th> <th style="background-color: #ffff00;">R4現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てワークショップ・親(保護者)学講座の年間開催回数</td> <td>58</td> <td>61</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>			計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値	子育てワークショップ・親(保護者)学講座の年間開催回数	58	61	67
計画中の指標	計画策定時の現況値	R4目標値	R4現況値								
子育てワークショップ・親(保護者)学講座の年間開催回数	58	61	67								
課題	<p>◆引き続き、実施回数や満足度を充実・向上の継続が必要である。</p>										
今後の方向性	<p>◇保護者同士の学びと交流を重視し、保護者のニーズに応え、孤立して思い悩むのではなく、気軽に話し合い、共感や子育てのヒントを得ることを通して、親子がともに育っていく家庭教育支援を目指す。</p> <p>◇子育てワークショップ・親(保護者)学講座【こども家庭講座に名称変更】の年間実施回数を64回以上を目標とし、実施回数が増えるよう、市PTA連合会の会議等で周知の徹底を図るとともに、家庭教育支援チームの研修会等を充実させていく。</p> <p>◇入学説明会においてスマホ等の使い方や家庭学習等についてのワークショップを全校で継続実施する。</p>										

IV 学識経験者（外部評価者）の総評

服部 康正（元小学校校長）

I はじめに

「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」について、外部の第三者としての視点で検討評価させていただいた。津山市教育振興基本計画の第3期計画（令和4年度～令和7年度）が作成され、本年度はその1年目に当たる。評価方法が第2期の津山市教育振興基本計画では「施策の概要」「主な取組の概要」「教育振興基本計画における重点取組の進捗状況」が記載され、取組の該当年度実績、達成率、進捗率、事業の課題と今後の方向性等が記載されていたが、第3期の津山市教育振興基本計画では「具体的施策と実施状況」「目標指数とその達成状況」「課題」「今後の方向性」と各項目別に記載するようになった。その観点から津山市教育委員会が所掌する膨大な範囲の事業の執行状況について関係各課より重点的な取組について丁寧な説明を受けた。特に国のGIGAスクール構想にあわせ学校のICT環境を急速に整備し、新たな時代の教育に鋭意努力され、まだ課題はあるもののその内容がほぼ達成できていることを高く評価したい。

今後はこれからの時代に求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をさらに進めていくことを大いに期待したい。

II 令和4年度教育委員会の活動

教育委員会の活動は、定例の会議のほか臨時会議、学校訪問、研修会への参加など精力的に実施されている。

総合教育会議も以前より1回増え、年3回開催され、また、令和3年度立ち上げていた「津山市小中学校の将来構想検討委員会」を4回(合計7回)開催し、将来を見据えた内容を包括的に協議し、取りまとめられたことを評価したい。

III 各施策の点検・評価について

基本的方向性 I 教育活動の推進・充実

(1) 自立

ア 主体的に学ぶ意欲の育成

○ 個別最適な学びと協働的な学びのためのICT教育の推進

児童生徒が日常的に端末を活用する授業改善や学校教育研究センターにおいて、先導的な取組実践及び教科ごとの実践報告会を行ったことは評価するが、他方で教員が「授業でほぼ毎日コンピュータ等のICT機器を使用する」と回答している割合が目標値にまだ近づいていない。学校間や校内でも教員によって差があり改善が必要である。

○ ICTを活用した先進的な授業展開のあり方の調査・研究

授業の中で、AIドリル「navima」を位置づけ積極的に活用し、NTT西日本、NTTドコモとの連携事業による、VRを活用した「狂言体験」小学校3校、中学校1校、「交通安全学

習」中学校1校など実証研究に積極的に取り組んでいる。

また、「AIチャットボットを活用した児童の心のケア」の効果を今まで児童の心情把握が難しかったところを次年度以降に多くの学校に広め、効果をあげていただきたい。

○ 主体的・対話的で深い学びを実現する学力向上対策の推進

津山市は学力向上の取組を県内のどこの自治体よりも頑張っておりと認識している。また、児童生徒が全国調査で「授業で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」と肯定的な回答をした割合が目標値を上回っており、授業改善や確かな学力の定着の取組、教員一人一回以上の授業公開等精力的に行っている。

しかし、全国学力学習状況調査で飛躍的に伸びているかというところでもないと説明を受けた。このことを考える時、2つのことを考えてみてはどうだろう。1つはあまり成果を早く求めない、言いかえると長いスパンで考えてみていただきたい。地道にコツコツと石垣を積むように積み上げていくことこそが大事なのではないか。2つ目は児童生徒にとって「学ぶことが楽しい」ことである。また、教える側にとっても「授業が楽しい！やりがいがある」ことが重要であろう。

児童生徒にとっても教える教員にとっても受け身ではなく、主体性を発揮することが大事であり、そのヒントは同僚性と協働性ということで、学校がOJT(On the job Training)⇒OJL(On the job Learning)に変えることなのではないかと考える。(仲間と共に学び、考える教職員集団に)

○ 少人数指導の充実

小学校において教職員定数を活用して、原則35人以下学級とする基本方針のもと、小学校学級編制の弾力化を今後も継続していく施策を高く評価したい。

○ キャリア教育の推進

キャリアパスポートの活用の取組を評価する。全国調査「将来の夢や目標を持っている」の項目で中学校が目標値を大きく上回っていることは素晴らしいことである。

一方で、小学校が目標値をかなり下回っていることは少し意外であった。児童に夢の果たせ方、夢の設定の仕方に工夫がいるということではないのだろうか。

イ 確かな学力の向上

○ 幼児教育と小学校教育の滑らかな接続(保幼小の連携)

「津山市共通支援シート」を8園で活用実施し、意見等を集約して様式を修正し、令和5年度にこの「津山市共通支援シート」を全園で実施するようつなげたことを高く評価する。これを機にまだ交流ができていない園が小学校と交流活動ができるようにしてもらいたい。

○ わかる授業の推進

基礎的な学力の定着と活用の力の育成を図るため「AIドリル「navima」の活用を積極的に進めたこと」、「授業力の向上や多面的な児童理解」や「学習意欲の向上」を目的として、若手教員の増加等の状況を踏まえつつ、小学校高学年の教科担任制を全学校で実施したことを高く評価する。その中でAIドリル「navima」の活用データをどのように各学校で活用していくのが今後の課題であり、そこが求められている。

○ 若手教員の育成

「津山市若手教員育成チェックシート」を用いて、学校と学校経営アドバイザーと教育委員会が連携し若手教員の育成を継続的にサポートしている取組は意義があり、これは継続していただきたい。

一方で、各学校に若手教員の手本やアドバイスを中堅教員が不足している実情を考えると、校内OJT体制の構築は難しく、いつでもどこでも学べる学校OJL体制の構築がこれからの学校の在り方と考える。教員の働き方改革を推進していく中で考えると仲間と共に学び、考える教職員集団にすること、すなわちOJTからOJLの組織的な学校にしていく管理職こそが必要と思う。その意味で管理職の手腕が問われている。

ウ 健やかな心と体の育成

○ 子育て支援の充実

幼稚園利用者における満足度の目標値を大きく上回り、97%が満足となっている。一つには幼稚園の一時預かり事業で保育開始前、保育終了後の時間延長を拡充し、保護者が働きやすくなったこと。また、地域子育て支援センター事業で出前保育22回、子育て講座33回、ICTを活用したオンラインイベント20回など精力的に利用者の立場に立った施策を実施したことがあげられる。今後も保護者ニーズに立った取組をお願いしたい。

○ 教育活動を通じた食育の推進と「食べる力」の育成

栄養教諭による食に関する指導が目標値を大きく上回り、充実していることが伺える。今後は、児童生徒自身が給食を含めた生活の中で、適正な食事量摂取につながる行動変容を期待したい。

○ 地域の食文化の継承と魅力ある献立づくり

ここでは学校給食に地場産物を使用する割合を上げている努力を高く評価したい。他方で、学校給食残食の割合が小学校でも中学校でも上がっているのが課題で改善が必要である。

○ 長期欠席・不登校への対策

この問題は個々の児童生徒が抱えているものが一人一人違うので、解決は非常に難しい。今回「新しい居場所(別室)」を設置し、常駐の教員と支援員を配置した試みを非常に

高く評価したい。また、不登校児童生徒の多様な学びの機会である不登校特例校の研究も教育委員会のアンテナの高さを感じるところである。現場の学校と連携協力して粘り強く取り組んでほしい。

(2) つながり

ア 自他を尊重する心の育成

○ 多様性を認め他者を思いやる心の育成(人権教育の推進)

LGBTと言われる性的マイノリティーの人たちの理解を増進することが叫ばれている昨今、社会の中で多様性が非常に重要になっている。その意味でも既存の学習内容だけにとどまらず、新しい目をもって学習内容を工夫していくことが大切である。

○ いじめ・暴力行為への対策

問題行動等調査における「暴力行為発生件数」(件)は小学校、中学校とも6件と非常に少なく、また、全国調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合が小学校、中学校とも約97%と良い結果である。しかし、いじめはひとつ間違えば命と直結するので件数は少なくとも、学校のどの教職員もアンテナを高く上げ、敏感に迅速に対応する必要があることを再度言っておきたい。

イ 人や地域との豊かな人間関係の構築

○ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進

当初の計画通り令和4年度3校、令和5年度15小中学校が加わり、令和6年度に17小学校がコミュニティ・スクールを導入する。各学校が準備委員会で学校運営協議会委員の人選、関係者の十分な理解と信頼関係づくり、育てたい子どもの姿の共有等しっかりした骨子を持ち、スタートしてもらいたい。

ウ 道徳性や規範意識の醸成

○ 関係機関等との連携による学校教育活動の支援

あいさつ運動を51回、学校訪問を14回実施等、各学校を支援していることを評価したい。教育委員会や学校のやる気を感じ、見守り隊や地域の方が通学班の集合場所に出て声かけをしたり、また、横断歩道に立つ人が増えたり、子どもにかわる地域の方が増えてきていることがとても良いことだと思う。

(3) 郷土愛

ア 津山の歴史・伝統・文化などを大切にすることの育成

○ 郷土愛の醸成(「つやま(郷土学)」の推進)

津山市出身の大学生に「津山を誇りに思うことや、他地域の人に自慢するものは？」と聞くと必ず洋学資料館のことを答える。それは、市内の小学校6年生全ての児童誰もが洋学資料館を訪ねているからと考える。今後もこの校外学習を継続してほしいし、このこと

からヒントがあるように思う。新規事業に体験が多く入っていてとても良いと感じた。さらに、中学生にこのような学びの校外学習がもっとあると良いと考える

基本的方向性Ⅱ 教育活動を支える環境作り

イ 良好な教育環境の維持・向上

○ 学校 ICT 環境整備

今後 ICT 活用頻度が益々増える中で、学校 ICT 環境整備は欠かせない。児童生徒数 350 人以上の学校にローカルブレイクアウト方式による回線増強は学校が求めている今必要な整備で評価する。また、ICT 支援員によるサポートの継続もお願いしたい。通信環境が不安定な学校には早い対応支援をお願いしたい。

○ 教職員の働き方改革

どの学校も時間外在校等時間縮減に努めている。教師業務アシスト員、部活動支援員の全校配置、校務支援システム等の効果的な活用も大きい。しかし中学校が職員一人あたり 51.4h と時間オーバーしている。やはり中学校の部活動が関係しているのであろう。今中学校の部活動の地域移行が叫ばれているが、教職員の働き方改革だけの問題ではなく、むしろ生徒の部活動をどうか確保できるかという視点が大事で、会議でしっかり話合うことが肝要と考える。

IV おわりに

第 3 期津山市教育振興基本計画の初年度であるにもかかわらず、各種施策の実施に懸命に取り組まれていることに、心より感謝申し上げます。

この計画には教育基本理念に「自立し心豊かにたくましく『つなぐ力』を育む」と掲げている。「自立」のためには、主体性の育成と知・徳・体のバランスのとれた育成が、「心豊かにたくましく」には自他を尊重し豊かな人間関係の中で自己肯定感や道徳性を育成することが必要ですと記されている。そして、「つなぐ力」には、人とつながり、地域とつながり、世界とつながり、歴史や文化とつながる力などを育成し、郷土の発展に貢献できる津山人を育てることが重要であると記してある。このすばらしい理念を皆が共有し、教育施策を着実に推進していくことを強く期待している。

令和 3 年度の事業を点検・評価した際にも感じたことではあるが、今回も津山市教育委員会及び津山市の教職員が、真摯にしかも全力でその職務に取り組んでいることを改めて確認し、その取り組み方、姿勢に心から敬意を表したい。郷土津山に誇りをもち、未来をきり拓いていく子どもたちが力強く、生き生きと育っていくことを願っている。

福田 邦夫（津山市教育振興基本計画（第2期）検討委員会委員）

I はじめに

「令和4年度教育事務管理執行状況点検・評価報告書（案）」を拝読し、関係各課から説明を受けました。公開されている資料から目標達成度を確認すると、児童・生徒へ高品質な教育を届けるべく奮闘されておられる教育関係者方々の真摯な姿勢が伺え、改めて感謝と尊敬の気持ちを表させていただきます。

同時に、各学校で行われている多岐にわたる業務や、教職員の方々が負う労働負荷や雑務が非常に多く、教職員不足や若手教職員のスキル不足という課題が存在する中で、教職員の方々が直面する課題や一人ひとりの能力を客観的かつ正確に把握しきれているか不明な部分もありました。児童・生徒の健やかな成長のために、多岐にわたる学校現場の課題を早急に改善し、今まで以上に細やかに、無駄な負担を軽減することや若手教職員のスキルアップが図れば、教育の成果も大きくなっていくのではないかと考えます。

今回、限定された資料とご説明に基づく総括になりますので、不適切な意見を述べている点もあるかもしれませんが、児童・生徒の健やかな成長と教育現場の更なる発展に少しでも貢献できればと願う一市民であることをご理解いただき、ご了承いただければ幸いです。

II 令和4年度教育委員会の活動

教育委員会の皆様には WEB 会議などの手段も用いながら、重要な議題について慎重に協議していただいていることに感心します。時に緊急の対応が求められる場合もあると思いますので、引き続き様々なツールの導入や日々のコミュニケーションを大切にしながら、迅速かつ効果的な協議ができる仕組みをさらに強化していただきたい。

III 各施策の点検・評価について

基本的方向性 I 教育活動の推進・充実

(1) 自立

新たな居場所（別室）の設置や IT ツールの活用より、幅広い教育方法が実践できていることが非常に素晴らしい点です。

AI ドリルによる情報もだんだん蓄積されてきており、先生方の教育方法の参考材料になったり、コロナ禍以前の活動も戻ってきていることで児童・生徒に向き合いやすくなっている点も期待できます。

(2) つながり

「自他を尊重する心の育成」の中の目標値の中に「暴力行為発生件数」というネガティブな項目があります。こちらの目標値は数値化することは難しいという点はわかりますが、目標値を達成されたからといって楽観視するのではなく、1件でも問題行動等が発生している現実に目を背けないようにしていかないと点であることを常に確認していただきたい。

1件の問題行動等により、取り返しのつかない事態が発生しないように気を付けてほしいと願います。

(3) 郷土愛

目標達成度を確認すると年齢を重ねるたびに「最上位の回答」の割合が悪くなっていることは懸念すべき課題です。中学校と小学校で行っている課外活動の回数の差が原因の一つであるならば、より工夫をしてでも取り組んでいく必要があるように感じます。自分たちが生活し、過ごす地域に誇りを持つことは、児童・生徒自身の自己肯定感の向上にも役立つと考えられます。

基本的方向性Ⅱ 教育活動を支える環境作り

教育の質や効率を高めるために、学校現場へのICT導入が積極的になされていますが、ICTはあくまで手段であり、その活用には、教員や児童・生徒がICTに対するスキルやリテラシーを身につけることが重要である点をより意識していかないといけない現状にあると感じます。今後も、その教育内容や方法についても、常に検討し改善していくことが必要です。

次に、衛生環境の整備についてですが、これは児童・生徒の健康や安全を守るために欠かせない取組です。特に、新型コロナウイルス感染症の流行や予防対策を考えると、必要に応じて学校内での消毒や換気、マスク着用などの衛生管理を実施していく場面もあるかと思えます。

しかし、衛生環境だけで、児童・生徒の健康や安全が保障されるものではありません。児童・生徒が適度な運動や休息をとり、バランスの良い食事を摂り、ストレスや不安を解消することも大切です。

また、児童・生徒が自分自身や他者の健康や安全に関心を持ち、責任感や協調性を持って行動することも重要です。

最後に、安心・安全に配慮した給食についてですが、これは児童・生徒の成長や学力向上に寄与する取組です。給食は児童・生徒に必要な栄養素を補給するだけでなく、食育や食文化の伝承などの役割も果たします。

さらに、児童・生徒が給食に対する感謝や尊敬の気持ちを持ち、マナーやルールを守って食べることも重要です。これからも、教育関係者や児童・生徒や保護者の皆様が一丸となって、教育活動をさらに充実させていくことを期待しています。

V 今後の教育委員会の対応の方向性
(教育委員会総評)

V 今後の教育委員会の対応の方向性（教育委員会総評）

この報告書は、令和4年度から実施している「第3期津山市教育振興基本計画」における重点取組の進捗状況の定期的な確認とともに、津山市教育委員会が策定した「令和4年度教育行政重点施策」の取組並びに達成状況についての点検とその結果を分析・評価するものです。

I 点検・評価の手法について

令和4年度の点検・評価は、以下の手法で行いました。

(1) 担当課による点検・評価

「第3期津山市教育振興基本計画」における重点取組及びの目標と、津山市教育委員会
が策定した「令和4年度教育行政重点施策」の取組並びに達成状況について、担当課にて
項目別に点検・評価を実施しました。

(2) 外部評価員2名によるヒアリングの実施

外部評価員による点検・評価については、外部評価員に項目ごとの説明を行い、その後、
質疑応答を行いました。そして、客観的な視点で各施策や重点目標の評価を、総評として
まとめていただきました。

(3) 指摘事項等を踏まえた点検・評価報告書の策定

2 点検・評価結果と対応の方向性について

外部評価員からは、総合的には、各項目とも概ね良好に施策が進められている旨の評価をいた
だきましたが、教育委員会の活動や幼児・学校教育にかかわる分野について、さまざまな意見・
要望がありました。（詳細については、P69～P75「IV 学識経験者の総評」を参照）

津山市教育委員会では、この意見・要望に対して以下のような方向性をもって対応していきま
す。

III 各施策の点検・評価について

基本的方向性 I 教育活動の推進・充実

(1) 自立

ア 主体的に学ぶ意欲の育成

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
学校間や校内での教員のICT機器の 使用の増進	操作スキルを高めることや、授業などでの活用方 法を探り、校内のICT活用推進体制と研修を強 化してまいります。
ICTを活用した児童の心情把握	児童の心のケアについて、ICTを活用した方策 の模索を、学校と連携し引き続き行っていきます。

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
学力向上における長いスパンの視野	現在行っている取組内容の検証をしっかりと行い、継続的に学校とともに学力向上に向けた施策を進めていきます。
仲間と共に学び、考える教職員集団に、OJT(On the job Training)からOJL(On the job Learning)へ	学校自らが意欲的に、そして、教員同士が切磋琢磨しながら教育実践を行うことが必要であると考えています。
キャリア教育にあたり、児童への夢の持たせ方、設定の仕方の工夫	夢の設定が将来のものだけではなく、身近な目標や学校行事等で設定し、自身の成長を感じられるよう、「つやま郷土学」の学習活動等を通して、教師自身が児童へ問いかける工夫が必要であるとと考えています。

イ 確かな学力の向上

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
共通支援シートを機にした、園と小学校の交流活動	年次計画によって近隣の園と小学校が交流できるようにマッチングし、取り組みを進めていきます。
AIドリル「navima」の利用データの各学校での活用	実施回数や取り組んでいる教科などとともに、個々の取組状況も把握できることから、詳細な分析とともに、一人一人の苦手克服に活用してまいります。
津山市若手教員育成チェックシートの活用継続	引き続き、チェックシートを活用した人材育成を実施していきます。

ウ 健やかな心と体の育成

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
子育て支援における、保護者ニーズに沿った取組	地域子育て支援センターにより、親子の交流や保護者の気分転換、育児相談の場などの役割の充実、ICTを活用した情報発信の推進など、引き続き子育て支援の役割を担い、保護者の安心感や余裕をもった子育てにつなげていきます。
児童生徒自身や他者に対する健康や安全への関心と行動	児童生徒自身が心身ともに健康な生活を送る力を育成するための情報収集を行い、家庭や学校への情報発信や啓発に努めます。
給食を含めた、児童生徒自身の適正な食事摂取の行動変容	児童生徒が、自身の望ましい食事の摂り方を理解し実践できるよう食に関する情報提供を行うとともに、家庭や関係機関と連携した取組を継続していきます。

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
給食残食の改善	児童生徒が食への理解を深め、残さず食べようとする習慣が身につくような食育活動の継続や、献立の工夫と充実に努めていきます。
食に対する感謝、尊敬とマナーやルール意識の醸成	給食に関わる人々の取組や活動を様々な媒体を用いて情報発信することで、児童生徒の認識や理解が深まるよう努めます。また、児童生徒が、給食を通じて学んだマナー等を日常生活においても実践するために継続した啓発を行っていきます。
長期欠席・不登校に対する、学校との連携協力の取組	支援の取組事例を各校へ広げ、長期欠席・不登校対策を進めていきます。

(2) つながり

ア 自他を尊重する心の育成

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
多様性についての、学習内容の工夫	中学校での制服や校則の見直しを実施しており、子ども目線からの学習活動の見直しを踏まえながら、学習内容の工夫を行います。
いじめ・暴力行為に対する、敏感・迅速な対応の必要性	「津山市いじめ問題基本方針」に基づき、いじめの未然防止と適切な対応に努めるとともに、適切な対処が組織的にできるよう、継続して各校や担当者会等で周知徹底していきます。

イ 人や地域との豊かな人間関係の構築

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
コミュニティ・スクールのしっかり骨子を持ったスタート	学校運営協議会と協働的立場で、役割分担や具体的対応を進めていきます。

(3) 郷土愛

ア 津山の歴史・伝統・文化などを大切に作る心の育成

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
郷土愛醸成にかかる、小中学校での校外活動の差と中学生への校外学習の増進	身近な地域の人々をはじめ、自然や歴史、文化等に触れる「つやま郷土学」を学校の教育課程に位置づけ、子ども一人一人のニーズや心情に寄り添う学習を工夫していきます。

基本的方向性Ⅱ 教育活動を支える環境作り

イ 良好な教育環境の維持・向上

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
ICT支援員のサポート継続	ICT支援員によるサポートを、引き続き実施していきます。
通信環境の不安定な学校への対応支援	学校の通信環境の整備・改善に、引き続き努めていきます。
教員や児童生徒に向けたICTスキルやリテラシー教育	身につけておかなければならない情報リテラシーを発達段階に応じて一覧にし、全小中学校に配布・確認し、各校で適切に指導するよう指示しております。
部活動についての、協議会での話し合い	全国的な少子化の影響により、各校での部活動が成立しない状況も発生しています。令和5年度は「部活動の在り方検討及び地域連携・地域移行推進協議会」において今後の部活動の地域移行に係る基本方針を検討していきます。

ウ 総合的な連携体制の構築

外部委員からの意見・要望	状況や今後の対応の方向性など
教育委員会活動における様々なツールの導入や迅速かつ効果的な協議ができる仕組み	引き続き、様々な方策を活用し、迅速で効果的な協議を、教育委員会活動にて進めていきます。

津山市教育委員会では、津山市の教育が目指す人間像として「自立」「つながり」「郷土愛」の3つを掲げた、「津山市教育振興基本計画（第3期）」を令和4年3月に策定しました。

また、『ふるさとを愛し 心豊かに たくましく「つなぐ力」を育む』という教育基本理念の実現を目指して、毎年度「教育行政重点施策」を定め、教育施策に取り組んでいます。

今回の「点検・評価の結果」及び「学識経験者の総評」を、今後の施策立案や事業実施に活かし、教育環境の変化や市民ニーズ等へ適切に対応し、継続性のある津山市の教育の充実・発展のために、使命感と責任感をもって本計画とその施策を確実に実行・推進していきます。

VI 資 料

令和4年度 津山市教育行政重点施策の体系

津山市第5次総合計画（平成28年度～令和7年度）

【子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり】

- ◇子どもが健やかに育つために → 幼児教育・保育の充実
- ◇次代を担う子どものために → 義務教育の充実、教育環境の充実、家庭・地域の教育力の充実、青少年の健全育成
- ◇心も体も元気であるために → 生涯学習の推進、スポーツ活動の充実、芸術・文化活動の充実、国際交流・地域間交流の推進
- ◇歴史・文化を守り伝えるために → 歴史文化の継承と文化財の保存・活用

津山市教育大綱

【目指す人間像】

自立

自立して、自己の将来を切り拓き、たくましく生きていけるひと

つながり

広い視野で人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひと

郷土愛

ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひと

第3期 津山市教育振興基本計画（令和4年度～令和7年度）

教育基本理念

自立し 心豊かにたくましく「つなぐ力」を育む

(1) 教育活動の推進・充実

自立

- ア 主体的に学ぶ意欲の育成
- イ 確かな学力の向上
- ウ 健やかな心と体の育成

つながり

- ア 自他を尊重する心の育成
- イ 人や地域との豊かな人間関係の構築
- ウ 道徳性や規範意識の醸成

郷土愛

- ア 津山の歴史・伝統・文化などを学び大切にすることを学ぶ心の育成
- イ ふるさと津山に誇りと愛着をもち、地域や社会に貢献できる人の育成

(2) 教育環境の改善・充実

【教育活動を支える環境づくり】

- ア 安全・安心な学校づくり
- イ 良好な教育環境の維持・向上
- ウ 総合的な連携体制の構築

◇◇ 令和4年度重点施策の方向性 ◇◇

- ☆ 就学前教育と義務教育の円滑な接続
- ☆ ICTを活用した授業改善
- ☆ 不登校・長期欠席への対策
- ☆ 生活・学習習慣の改善
- ☆ 社会性・自己肯定感の醸成
- ☆ 落ち着いた学習環境づくり

令和4年度当初予算（教育委員会）

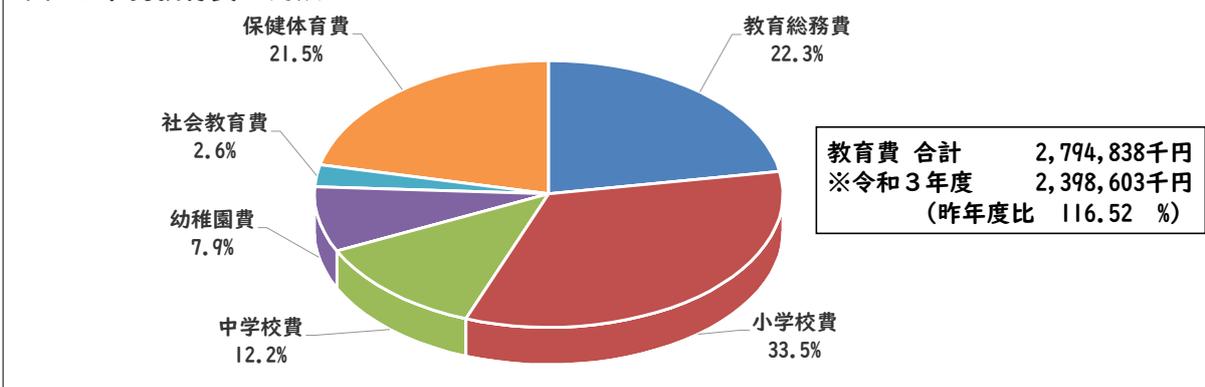
（単位：千円）

No.	主要	事業名	概要	予算額	No.	主要	事業名	概要	予算額
1		教育委員会運営費	教育委員会の運営経費（報酬、旅費等）	4,286	20	●	確かな学力向上対策事業	デジタル教材の導入、学校経営アドバイザーの配置、ALT派遣、市費非常勤講師の雇用等の経費	67,221
2		事務局職員給与関係費	職員の給与、手当等	311,177	21		理科教育等設備整備事業	小中学校の理科備品等の計画的な整備（備品購入費）	1,500
3		事務局運営費（経常）	事務執行に必要な経費（文書委託料、消耗品費、通信運搬費等）	12,528	22	●	学校ICT環境整備事業（小学校）	GIGAスクール構想に基づく通信料、ICT支援員派遣等	34,370
4		事務局運営費（臨時）	産休・病休等の代員臨時職員賃金、社保等	5,382	23	●	学校ICT環境整備事業（中学校）	GIGAスクール構想に基づく通信料、ICT支援員派遣等	11,213
5		事務局施設管理運営費	小中学校施設の維持管理・運営経費（嘱託作業員報酬、設計システム賃借料等）	3,206	24		人権学習充実拠点事業	県費により人権学習の授業公開、研究授業を行う県委託事業	252
6		学校教育関係費	児童生徒の就学指導及び学事事務に要する経費	10,502	25		小1グッドスタート支援事業	県費により、30人以上在籍の小学1年のクラスに学級担任等の補助を行う教育支援員を配置	4,041
7		教職員資質向上事業	若手職員資質向上、小中学校連携、人権事業等	1,290	26		生き活きとした教育活動を支える教師業務アシスタント配置事業	県費により教員の事務作業等の負担軽減のためのアシスタントを配置	13,452
8		生徒指導対策事業	いじめ問題への対応や支援（いじめ問題対策連絡協議会委員報酬等）	93	27	●	地域とともにある学校づくり推進事業	学校運営協議会委員報酬等	375
9	●	生徒指導・不登校対策事業	不登校への組織的対応力の向上を図るための登校支援員配置、アドバイザー派遣への費用	9,914	28		通級による指導におけるICT活用研究事業	県費により通級指導教室でのICT活用に向けての実践検証	800
10		特別支援教育推進事業	特別支援教育推進センターの非常勤相談員報酬や医療的ケア看護師報酬等	6,470	29		ふるさと学習推進事業	つやま元気大賞表彰、ふるさと学習授業の開催、津山洋学資料館等の施設や市内企業等の見学等費用	3,550
11		小中学校教科充実事業（経常）	PC教室PCリース料。武道や音楽の外部指導者による指導充実に係る費用等（謝礼金、修繕料等）	20,093	1～29 教育総務費 合計				623,050
12		小学校教科充実事業（臨時）	地域教材を含む副読本作成委託費用。	2,266	30		小学校一般管理費（経常）	電気、ガス、水道利用料等、学校配当予算、校務PCリース料、学校司書等の配置に係る経費	356,667
13		小中学校課外活動費	職場体験活動、学習・発表活動などの課外活動経費	11,220	31		小学校一般管理費（経常）	県小学校教育研究会負担金、学校警察連絡協議会負担金等	640
14		スクールヘルパー配置事業	障害介助、発達障害、日本語指導等の特別な支援を必要とする児童の支援員報酬等	54,392	32		小学校一般管理費（臨時）	電波法改正に伴うワイヤレスマイク等更新	2,000
15	●	特別支援学級充実事業	多人数特別支援学級への非常勤講師配置。きめ細かな指導の実施	19,063	33		小学校給食管理費（経常）	給食配膳室の運営に係る費用（点検委託料等）	5,539
16		学校教育研究センター関係費	各部会研修会により、教職員の指導力向上を図る（講師謝礼金、会場使用料等）	523	34		小学校給食管理費（臨時）	給食用配送車駐車場舗装修繕（高倉小）	800
17		学力向上プロジェクト事業	英語指導スーパーバイザー謝礼金等	100	35		小学校施設管理費（経常）	学校施設の維持管理（軽作業員賃金、修繕料等）	98,881
18		放課後学習サポート事業	放課後を中心に補充学習を実施する小中学校（29校）に支援員を配置（報酬等）	5,682	36		小学校施設管理費（臨時）	屋内運動場の建具改修、老朽遊具の更新等（施設整備工事費等）	14,050
19	●	きめ細やかな教育体制整備事業	市内小中学校に教師アシスタント員と部活動指導員を配置（報酬等）	8,089	37	●	小学校施設整備事業	大規模改修（河辺小）、トイレ、空調、プール改修等の整備費	384,611

No.	主要	事業名	概要	予算額	No.	主要	事業名	概要	予算額
38		小学校教育教材費	教育活動に必要な教材や教材備品費(学校配当予算)	17,728	56		つやま東幼稚園管理運営費(経常)	つやま東幼稚園の運営経費(光熱水費、消防警備委託等及び嘱託医、会計年度任用職員の経費)	18,307
39		小学校遠距離通学補助費	通学のためバス又は鉄道を利用する児童の保護者への補助金支給	5,353	57	●	幼稚園預かり保育事業	公立幼稚園2園において、通常の保育時間終了後、家庭で保育が出来ない場合に預かる経費(会計年度任用職員経費)	6,134
40		小学校準要保護等児童対策費	経済的理由から就学困難な児童の保護者等に学用品や通学用品、給食費等を支給	48,657	58		幼稚園特別支援対策事業	通級指導教室幼児部(北小・西小)の運営経費(嘱託職員等の経費)【定住自立園連携事業】	8,209
30~40 小学校費 合計				934,926	52~58 幼稚園費 合計				220,755
41		中学校一般管理費(経常)	電気、ガス、水道利用料等、学校配当予算、校務PCリース料、学校司書等の配置に係る経費	156,566	59		つやまっ子家庭教育推進事業	親学講座や子育てワークショップ研修などの実施委託料	864
42		中学校一般管理費(経常)	県中学校教育研究会負担金、学校警察連絡協議会負担金等	1,050	60		二十歳を祝う会関係費	二十歳を祝う会の開催に要する費用(記念品代、案内状印刷費等)	1,610
43		中学校一般管理費(臨時)	電波法改正に伴うワイヤレスマイク等更新	1,800	61		少年団体等育成事業(経常)	子ども会連合会補助金、子どもまつり事業委託料等	422
44		中学校給食管理費(経常)	給食配膳室の運営に係る費用(消耗品費等)	1,735	62		奨学金を活用した大学生等の定着促進事業	若者定住を促進する奨学金の返還金に対する補助金等	27,552
45		中学校給食管理費(臨時)	給食用配送車駐車場改良工事等(加茂中、鶴山中)	2,500	63		鶴山塾管理運営費(経常)	鶴山塾の管理運営に必要な経費(相談員報酬等)	17,801
46		中学校施設管理費(経常)	学校施設の維持管理(軽作業員賃金、修繕料等)	41,457	64		青少年育成センター運営費(経常)	青少年育成の推進、子ども若者育成支援事業に要する経費	13,001
47		中学校施設管理費(臨時)	危険高木管理伐採委託、下水道事業受益者負担金等	5,892	65	●	子ども若者育成相談支援事業	ニートやひきこもり、不登校などの支援事業費等	1,076
48	●	中学校施設整備費	校舎の大規模改修(加茂中)	70,000	66		健全育成事業(経常)	P.T.A.連合会事務局経費、プール開放事業補助金等	2,975
49		中学校教育教材費	教育活動に必要な教材や教材備品費(学校配当予算)	8,736	67		放課後子どもプラン推進事業	放課後子ども教室委託料等	3,230
50		中学校遠距離通学補助費	通学のためバス又は鉄道を利用する生徒の保護者等への補助金支給	2,620	68		地域学校協働本部事業	地域学校協働本部事業の実施に伴う委託料	5,065
51		中学校準要保護等生徒対策費	経済的理由から就学困難な生徒の保護者等に学用品や通学用品、給食費等を支給	49,200	59~68 社会教育費 合計				73,596
41~51 中学校費 合計				341,556	69		学校給食事業	親子料理教室、給食費未納者督促、学校給食会補助等費用	403
52		幼稚園管理職員給与関係費	職員の給与、手当等	137,287	70		小学校保健事業	嘱託医報酬、検査手数料、健康診断(人間ドック)・ストレスチェック委託料等	44,542
53		幼稚園一般管理費(経常)	公立幼稚園2園に共通する運営経費(旅費、遊具点検・バス運行・文書集配・健康診断委託等の経費)	32,485	71		中学校保健事業	嘱託医報酬、検査手数料、健康診断(人間ドック)・ストレスチェック委託料等	17,655
54		幼稚園一般管理費(臨時)	幼稚園におけるマスク購入等の感染防止予防対策	1,000	72		給食センター職員給与関係費	戸島・草加部学校食育センター職員人件費	56,328
55		つやま西幼稚園管理運営費(経常)	つやま西幼稚園の運営経費(光熱水費、修繕料、消防警備委託等及び嘱託医、会計年度任用職員の経費)	17,333	73		給食センター管理運営費(経常)	戸島・草加部学校食育センターに係る運営経費	471,707

No.	主要	事業名	概要	予算額	No.	主要	事業名	概要	予算額
74		戸島学校給食センター施設・設備改修事業	戸島学校食育センター施設・設備の改修	10,320					
69～74 保健体育費 合計				600,955					
教育費（教育委員会所管） 合計（千円）				2,794,838					

令和4年度教育費の内訳



令和4年度 津山市磯野計記念奨学金特別会計

令和4年度 津山市奨学金特別会計

(単位：千円)

(単位：千円)

No.	主要	事業名	概要	予算額	No.	主要	事業名	概要	予算額
75		奨学金貸付金 合計	大学生等への奨学貸付金等	6,848	76		奨学金貸付金 合計	高校生、大学生等への奨学貸付金等	10,172

令和4年度6月補正予算（教育委員会）

（単位：千円）

No.	主要	事業名	概要	予算額	No.	主要	事業名	概要	予算額
1		教職員資質向上事業	津山市保幼こ中中人権教育研究協議会への補助金	402	14		幼稚園ICT整備事業	幼稚園ネットワーク環境整備	2,579
2	●	生徒指導・不登校対策事業	中学校登校支援員配置に伴う経費	4,706	15		幼稚園教育振興費	私立幼稚園連合会への補助金	876
3	●	小1グッドスタート支援事業	小1グッドスタート教育校支援員配置に伴う経費	3,100	16	●	人権学習充実拠点園事業	岡山県人権学習充実拠点園事業（つやま西幼稚園）	111
4		新型コロナウイルス感染症対策事業	修学旅行キャンセル料等補助金	5,000	12～16 幼稚園費 合計				3,861
1～4 教育総務費 合計				13,208	17		少年団体等育成事業（経常）	子ども会連合会補助金	516
5		小学校施設管理費（臨時）	佐良山小（屋上防水改修工事）中正小（浄化槽排水管移設工事）	17,000	18		青少年育成センター運営費（経常）	警察署管内少年警察協助力連絡協議会補助金、青少年育成指導委員連絡会補助金	403
6	●	小学校施設整備事業	加茂小（校舎空調改修；実施設計）高田小（プール改修）	23,000	19		健全育成事業（経常）	学校プール開放事業に関する補助金	1,250
7	●	放課後児童クラブ施設整備事業	西小学校児童クラブ棟等解体工事	13,000	17～19 社会教育費 合計				2,169
8	●	小学校準要保護等児童対策費	準要保護児童の給食費補助の増額	6,237	20		学校給食事業	学校給食会補助金	3,010
5～8 小学校費 合計				59,237	21		部活動を通じた食育実践事業	部活動を通じた食育の実践に伴う経費（謝金ほか）	601
9		中学校一般管理費（臨時）	中学校体育連盟補助金	297	22		小学校保健事業	県学校保健会津山支部補助金	104
10		中学校一般管理費（臨時）	勝北中（屋根屋上防水改修工事）鶴山中（部室屋根塗装改修工事）	13,500	23		中学校保健事業	県学校保健会津山支部補助金	54
11	●	中学校準要保護等児童対策費	準要保護生徒の給食費補助の増額	4,211	24		給食センター管理運営費（経常）	食器補充	1,100
9～11 中学校費 合計				18,008	25		戸島学校食育センター施設・設備改修事業	戸島学校食育センターの施設修繕費用等	12,096
12		幼稚園一般管理費（経常）	岡山県学校保健会津山支部補助金	4	20～25 保健体育費 合計				16,965
13		幼稚園一般管理費（臨時）	幼稚園職員用抗原検査キット	291	教育費（教育委員会所管） 合計（千円）				113,448

教育委員会の執行体制

(令和4年4月1日)

<教育委員会事務局>



<補助執行を行う市長部局の部署>

